

# 「放送局の目標」 一覧

2019年度

# 北海道

## 部局目標 [2019年度]

局名 札幌放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	「いざという時に頼りにする“NHK北海道”として、北海道7局が一体となって災害・減災・緊急報道に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇道内7局が支えあうネットワーク体制の堅持</li> <li>◇様々な自然災害への防災・減災報道と切実な情報の優先発信</li> <li>◇統一地方選、参院選の選挙報道の充実・強化</li> <li>◇胆振東部地震の継続取材と復興支援</li> <li>◇災害時のラジオとインターネットの発信力強化</li> <li>◇設備の強化と新技術の導入による安定送出・電波確保の実施</li> <li>◇大規模災害訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
2	「課題を考える拠り所の“NHK北海道”として、正確、公平・公正な情報を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇北海道の政治・経済・社会のニュース・情報を多角的に発信</li> <li>◇北海道NEWSWEBの充実</li> <li>◇ニュースへの疑問・意見を放送内容に活かすクイックレスポンス</li> <li>◇北方領土の動向と元島民の思いをきめ細かく取材</li> <li>◇平成の終わりと改元を記録</li> <li>◇地域局のニュース・情報発信の強化</li> <li>◇定時番組のリニューアル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
3	「身近で話題になる“NHK北海道”として北海道の豊かな文化、自然、食、歴史、くらし、スポーツの魅力を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇幅広い世代の期待に的確に応える多彩な番組制作</li> <li>◇「北海道の底力」をアピールする新番組の開発</li> <li>◇「なつぞら」と「永遠のニシバ」のドラマ活用と戦略的展開</li> <li>◇「ウポポイ」開設に向けてアイヌ文化など多様な文化の伝承</li> <li>◇W杯ラグビーや地元根差したスポーツ番組の充実</li> <li>◇4K8K番組制作の強化</li> <li>◇アジアを重点とした国際発信の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
4	「みんなの“NHK北海道”として視聴者とながら、ふだん使われる地域のハブとなります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇双方向デジタルを活用した視聴者コミュニケーション活動の強化</li> <li>◇視聴者と地域の課題を考える“課題解決ジャーナリズム”の実践</li> <li>◇帯広局をパイロット局とした先駆的な取り組みの試行と検証</li> <li>◇オープンイノベーションを活用した視聴者ネットワークの構築</li> <li>◇重点編成月間など戦略的な編成の強化</li> <li>◇「I LOVE JIMOTO 北海道」キャンペーンの充実</li> <li>◇地元民放、新聞社、FM局、CATV等との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
5	“NHK北海道”が一体となって、2020年度末「支払率75%」「衛星契約割合50%」の達成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇大都市圏地域を重点に契約収納体制の強化と重点施策を展開</li> <li>◇視聴者の利便性向上にあわせた外部法人事業者の拡大</li> <li>◇視聴者に一層の理解と納得を得られるための訪問活動の展開</li> <li>◇北海道7局が一体となった受信料の理解促進活動の展開</li> <li>◇放送や広報・イベントを通じて視聴者との結びつきを強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
6	働き方改革を推進し、コンプライアンスを徹底して、“NHK北海道”の将来持続可能な業務体制を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇責任と倫理に根差したコンプライアンスの徹底</li> <li>◇ダイバーシティを促進して多様な働き方を実現</li> <li>◇拠点局の既存業務の見直しと地域局支援へのパワーシフト</li> <li>◇地域局の将来のあり方を見据えた最適な体制の構築</li> <li>◇新札幌放送会館整備の着実な実施と移行に向けた準備</li> <li>◇女性活躍の推進と障害者雇用の促進</li> <li>◇グループ全体の効率的な経営資源の再配分とガバナンスの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>

## 部局目標 [2019年度]

局名 函館放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	命とくらしを守る災害・緊急報道、防災・減災報道に全力で取り組み、道南地域の安全・安心な暮らしを守ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇初動体制の確認と、サブステーションでの定期訓練の実施</li> <li>◇放送の安定的送出と良好な受信環境の整備</li> <li>◇コミュニティーFMとの連携強化</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の課題に真摯に向き合うとともに、地域に寄り添った放送やサービスを展開し活性化に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇的確で正確な選挙報道</li> <li>◇人口減少や地域経済活性化などの重要課題を取り上げ、視聴者と共に考える取り組みの強化</li> <li>◇海路と新幹線の北の玄関口として、青森局と連携した取り組みの実施</li> <li>◇道南の歴史や文化を番組やイベントを通じて紹介し、地域の活性化を図るとともに営業の理解促進活動にもつなげる</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	視聴者とのつながりを大切に、道内局としての業務のありようを不断に見直します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇北海道一体運用の中で、視聴者コミュニケーションのあり方を見出す</li> <li>◇ネット環境の整備を含め自動化を推進し、効率的な業務を行う</li> <li>◇視聴者の信頼を裏切ることがないよう、コンプライアンス意識を浸透させる</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 旭川放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	いざという時、頼りになる地元の放送局として、日頃から災害に備え、地域の「安全・安心」を支えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害に備えた体制整備と訓練</li> <li>◇迅速で正確な緊急報道</li> <li>◇暮らしを支えるライフライン放送</li> <li>◇放送設備の保守、点検、整備</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
2	地域と共に歩む「開かれた放送局」として、道北の魅力や課題を発信し、放送や事業、デジタルを通じて地域社会に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の「いま」を伝えるニュース</li> <li>◇地域の課題を掘り下げ、対策を探る番組</li> <li>◇地域を応援する多様な放送サービス</li> <li>◇豊かな暮らしに資する事業</li> <li>◇デジタルを活用し、地域と共に発信する新たなサービス</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
3	働き方改革、業務改革を推進すると共に、コンプライアンスを徹底し、創造的で活力ある職場を実現することで、個々の能力を最大化し、地域サービスの充実につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ワークライフバランスに資する働き方改革</li> <li>◇公共メディアへの業務シフトを念頭に従来業務の見直し</li> <li>◇ダイバーシティ職場の実現</li> <li>◇風通しの良い職場環境の構築</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求 <span style="float: right;">✓</span>
4	“NHK北海道”が一体となって2020年度末「支払率75%」「衛星契約割合50%」の達成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇新たな営業活動の手法を検討・開発</li> <li>◇受信料の理解促進活動の展開</li> <li>◇放送やデジタル、事業を通じて視聴者との結びつきを強化</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求

## 部局目標 [2019年度]

局名 帯広放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	「いざという時に頼りになる”NHK”」として道内6局と連携して災害・減災・緊急報道に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害時の管中放送体制を確立</li> <li>◇大規模災害を想定した緊急報道訓練を実施</li> <li>◇局内防災訓練を実施</li> <li>◇放送設備を整備</li> <li>◇被災者に役立つ情報の提供</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
2	「身近で話題になる”NHK帯広”」を目指して、地域の多様な期待に応える新たな放送サービスを展開します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ICTを活用した双方向のニュースの制作手法を開発し、効率的かつ効果的に地域の課題を深掘りするスキームを構築</li> <li>◇重点編成月間(5月)での発信力を強化</li> <li>◇4K・8Kの理解・普及促進</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
3	「地域の応援団」として、地域を応援する放送サービスやイベントで地域の活性化に貢献し、受信料の理解促進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇連続テレビ小説「なつぞら」と連動した地域の活性化と理解促進</li> <li>◇地域を応援する「I LOVE JIMOTO 北海道」を継続</li> <li>◇地元の新聞社・FM局・CATV等との連携を強化し、ヒトモノカネをかけることなく地域の防災・減災力向上に貢献</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求
4	働き方改革を推進し、コンプライアンスを徹底して活力ある業務体制・職場環境の実現に向けて、“NHK北海道”の将来持続可能な業務体制を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇視聴者コミュニケーションのあり方を視野に入れた地域局の新しい業務体制を構築</li> <li>◇モバイルワークを導入し、働き方改革とワーク・ライフ・バランスを推進</li> <li>◇責任と倫理に根差したコンプライアンスを徹底</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求 <span style="float: right;">✓</span>

## 部局目標 [2019年度]

局名 釧路放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	北海道東部沖の千島海溝沿いで切迫している可能性の高い巨大地震・津波への備えをいっそう強化し、道内7局が一体になって災害・緊急報道に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の防災力を高める情報の継続発信</li> <li>◇大規模災害の初動対応訓練の定期的な実施</li> <li>◇放送継続・電波確保のための設備・機能の強化・充実</li> <li>◇航空取材強化のため ヘリポート整備計画を推進</li> <li>◇災害時には地域に役立つきめ細かな情報の優先発信</li> <li>◇災害時の情報収集・発信に役立つ新たなシステムの開発</li> <li>◇地域の防災機関・住民組織とのネットワークづくり</li> <li>◇隣接する帯広局・北見局との日ごろからの連携強化</li> <li>◇統一地方選挙・参議院選挙の迅速・的確な報道</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	北方領土問題など地域のさまざまな課題と向き合い、あすを切り開くよりどころになります。道東の豊かな自然や魅力ある人々を広く発信し、放送やイベントで視聴者ともつながって、地域を応援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇日口交渉に合わせ 北方四島元島民や地元の思いを発信</li> <li>◇地域の課題を掘り下げて解決策を探り 地域へ貢献</li> <li>◇雄大な自然や多彩な生き物 食の魅力を全国・世界へ</li> <li>◇地域のため前向きに取り組む人たちにエールを送る放送</li> <li>◇アイスホッケー実業団チーム廃部後の動きを丹念に取材</li> <li>◇「なつぞら」と「永遠のニシパ」を活用した地域活性化</li> <li>◇4K8Kコンテンツの制作と普及活動</li> <li>◇視聴者と双方向でつながる放送・イベントの開発</li> <li>◇北海道東営業センターと連携をさらに強め 営業活動支援</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革を推進してコンプライアンスを徹底し、活力ある業務体制と風通しのよい職場環境を実現します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇新しいルールを守り 長時間労働に頼らない働き方を実現</li> <li>◇働き方を見直し より創造的なやりがいのある業務へシフト</li> <li>◇上司と部下が互いに理解・納得した適正な勤務管理の徹底</li> <li>◇業務の標準化・集約化を拠点局と協力して推進</li> <li>◇職場のコミュニケーションや交流をいっそう活発に</li> <li>◇公共放送人としての自覚を深め コンプライアンスを徹底</li> <li>◇モチベーション向上と人材育成のため 拠点局と交流強化</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 北見放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の安全・安心の拠点として、災害・減災・緊急報道に北海道7局が一体となって取り組みます。オホーツクの魅力を掘り下げ、地域の課題に向き合い、公平・公正な情報を発信し、地域を応援する放送やイベントを効果的に実施して、身近な放送局として地域の活性化に積極的に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害・緊急報道、防災・減災報道に道内7局と共に万全を期す</li> <li>◇統一地方選、参院選の選挙報道の充実</li> <li>◇地域の課題やニーズに向き合い、地域の価値や魅力を全道・全国に発信</li> <li>◇W杯ラグビーやカーリングなど地元で根差したスポーツを積極的に取り上げて応援</li> <li>◇公開派遣番組、イベントや広報の効果的な展開</li> <li>◇4K映像素材の蓄積と4K8Kの普及促進</li> <li>◇地元FM局などと、災害情報発信の連携強化</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	”NHK北海道”が一体となって、2020年度末「支払率75%」「衛星契約割合50%」の達成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇北海道北営業センターと連携し、効果的な営業施策を展開</li> <li>◇放送や広報・イベントを通じて視聴者との結びつきを強化し、受信料制度の理解を促進</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革を推進し、コンプライアンスの徹底を推し進めます。“NHK北海道”の将来持続可能な地域放送局としての業務体制を構築し、活力ある職場環境の実現に向けて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇的確なリスクマネジメントのもと、引き続き、コンプライアンスの徹底施策を実施</li> <li>◇地域局の新しい業務体制の構築と拠点局や隣局との連携強化</li> <li>◇少人数職場での効率的な業務改革に取り組み、働き方改革とワーク・ライフ・バランスを推進</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

# 北海道

## 部局目標 [2019年度]

局名 室蘭放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の命と暮らしを守る、災害・緊急報道、防災・減災報道に取り組むとともに、身近で関心の高い地域情報の発信や地域の多様な期待に応える放送サービスを展開します。	◇災害・緊急報道に万全を期し、地域の安全・安心につながる 情報を発信、胆振東部地震を継続取材 ◇統一地方選挙、参議院議員選挙における公平公正な選挙報道 ◇地域情報枠(単L)のニュース・情報発信を強化 ◇地域の課題を多角的に捉えて、解決策や新たな取り組みを発信 ◇胆振・日高地方の様々な情報や話題を全道・全国に発信 ◇インターネットを活用した情報発信を強化	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域を応援する放送サービスやイベントで地域の活性化に貢献するとともに視聴者との結びつきを強化し、受信料制度の理解促進を図り、支払率向上に取り組めます。	◇胆振東部地震からの復旧復興を応援する放送・イベントの実施 ◇室蘭重点月間に胆振・日高地方に関連する多彩な番組を編成 ◇地域の特性を生かしたミニ番組制作と広報・イベント展開 ◇公開番組やイベントなどの機会を活用した受信料制度の理解 促進・支払率向上への取り組み	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	活力ある業務体制・職場環境の実現、働き方改革を推進するとともに、コンプライアンスの徹底を図ります。	◇北海道一体運用の深化により業務の標準化・集約化を推進し、視聴者コミュニケーション活動を強化 ◇ニュースの取材・発信力を強化する業務体制の構築 ◇適正経理やタクシー券の適正使用など、コンプライアンスの徹底に向けた施策を継続実施	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓



部局目標 [2019年度]

局名 仙台放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	震災10年に向け、東日本大震災の記憶の伝承と全国への発信に努め、被災地の教訓をふまえて、命と暮らしを守る防災・減災報道に全力を尽くします	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇震災伝承のため域内局や地域の人たちとも連携するプロジェクトをスタート</li> <li>◇SHVやVRなど最新技術も活用した震災遺構の記録</li> <li>◇災害発生前からあらゆる伝送路を駆使する災害報道の強化</li> <li>◇復興への取り組みと課題を全国、世界に発信して地域を支援</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の課題に向き合い、地域を元気づける放送・サービスをさらに充実します	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇柔軟な発想と編成で地域のニュース番組の存在感を向上</li> <li>◇宮城県、さらには東北の課題や魅力を伝える番組の充実と開発</li> <li>◇東京2020に向けたニュースや番組、スポーツ中継で地域を応援</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	インターネットやイベントなど様々なタッチポイントで視聴者につながり、公共メディアへと進化します	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇インターネットを活用した地域サービスの推進体制を整備</li> <li>◇SNSを適切に活用し、若い世代のNHK仙台への関心を喚起</li> <li>◇放送と連動した会館公開やイベントを通じて体験型サービスを開発</li> <li>◇視聴者コミュニケーション活動で受信料制度の理解とNHKへの親しみを向上</li> <li>◇放送会館を活用した教育への貢献</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	拠点放送局として、東北ブロックの経営資源の最適配分、域内放送局への支援を通じて、地域の放送・サービスを強化するとともに、人材育成に努めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇域内局の予算管理を統一化し、効率的・効果的な業務執行を推進</li> <li>◇COMPASSの導入を支援し、効率的な業務体制の構築に活用</li> <li>◇ブロック全体の取材力・制作力・編成力・技術力の向上を支援、とりわけ人材育成を強化</li> <li>◇より効率的・効果的な営業体制をブロック一体で構築し公平負担を推進</li> <li>◇事務部門改革を支援してパワーを生み出し、地域貢献のための戦略立案力を向上</li> <li>◇要員配置の見直しも視野に2020年度に向けた東北ブロックの体制を構築</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
5	業務改革を推進し効率的な組織をめざすとともに、コンプライアンスを徹底し、信頼される放送局をめざします	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇既存業務と業務体制を全局で見直し、効率的・効果的な業務推進体制を整備</li> <li>◇関連団体への最適な業務委託と役割分担の推進</li> <li>◇働き方改革とワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい職場環境を整備</li> <li>◇コンプライアンスを徹底し、IT統制などリスクマネジメントを強化</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 秋田放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	もっと 秋田の安心と活力のために  県民の命と財産を守る体制とともに、秋田の魅力と課題に向き合う放送を強化し、地域の安全と活性化に貢献します	◇秋田の先進的な取り組みや成果を県域のみならず全国、世界に発信し、地域の活性化につなげます。 ◇秋田の今日的課題を掘り下げ、解決策を探る放送を充実させます。 ◇4K、8Kを活用し、伝統文化や豊かな自然など秋田の「宝」の魅力を積極的に記録、発信していきます。 ◇地域のスポーツを応援する放送に力を入れ、東京オリンピックパラリンピックに向けた県内の盛り上がりの後押しします。 ◇迅速正確できめ細かい災害報道に全局であたる体制を確立します。 ◇日頃の訓練を怠らず、減災につながる伝え方を研究するとともに、防災意識醸成につながる発信に日常的に取り組みます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	もっと 信頼される放送局に  コンプライアンスの徹底、業務改革、働き方改革を進め、より信頼される放送局をめざします	◇定型化している業務を洗い出し、集約や標準化を進めることで、より高度な視聴者サービスを実現するパワーを創出します。 ◇新労基法のルールを遵守し、やりがいある健全な職場環境を守りながら働き方改革を着実に進めます。 ◇職員ひとりひとりがより高い倫理観を身に付け、コンプライアンスを徹底します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	もっと 秋田のみなさんの近くに  視聴者コミュニケーションを強化し、県民にとってより身近な放送局をめざします	◇視聴者とともに作り上げる番組やイベントを企画、秋田の魅力や課題と一緒に向き合います。 ◇秋田放送局を楽しくワクワクする空間にし、地域のみなさんにもっと身近に親しんでいただける存在をめざします。 ◇放送やイベントなどを通じて受信料制度と公平負担への理解促進をさらに進め、公共放送の基盤強化につとめます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

部局目標 [2019年度]

局名	山形放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	あらゆる手段を駆使して、命と暮らしを守る防災・減災報道に全力を尽くし、地域の安全・安心の拠点となります	◇災害発生前から、迅速にL字放送を開始し、放送・インターネットを最適に活用して、きめ細かな防災・減災報道を行う ◇CATV事業者など外部とも連携してロボットカメラなどの体制を充実させ、火山噴火、津波、豪雪など災害への備えを強化する ◇全局態勢で災害に取り組めるよう、訓練を充実させる ◇次期運行装置にスムーズに移行して、放送無事故記録を19年に更新し、安定送出を継続する	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	山形県の課題に向き合い、魅力を広く発信して、地域社会に貢献します	◇610と金曜730を中心に地域のニュース情報番組をさらに充実させ、地域の人々のニーズにこたえるとともに、地域の課題や解決策を提起する ◇山形県の魅力と課題をより掘り下げて、全国・世界に発信する ◇東京オリンピック・パラリンピックに向け、地域と一緒にあってホストタウンやゆかりの選手を放送やイベントで応援するとともに、地域スポーツを積極的にとりあげ、スポーツで地域を盛り上げる ◇BSPでの「おしん」再放送を機に、ゆかりの地を4Kで撮影し年間を通じて放送するとともに、関連のイベントを実施し、地域の魅力の再発見や活性化につなげる	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	インターネットや4K・8K、VR、イベントなどをフルに活用して、若い世代や全国・海外にもつながり、公共メディアへと進化します	◇山形局制作のリポートなどを、インターネットやSNSで積極的に発信し、若い世代にもコンテンツを届ける ◇全国有数の多さを誇る山形のホストタウンの魅力を伝える企画や、海外でも人気の「おしん」ゆかりの地の映像は、インターネットや国際放送を活用して世界にも発信し、インバウンド推進に貢献する ◇放送の充実に加え、BS4K・8Kの普及促進、ホームページのコンテンツの充実、放送と連動したイベントなどで、幅広い世代の視聴者との接触を高め、受信料の公平負担を推進する	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	業務改革を推進し、効率的で持続可能な働き方を実現するとともに、コンプライアンスを徹底し、「信頼され親しまれる放送局」をめざします	◇業務全般を抜本的に見直し、定型業務の集約、外部化、スマートオフィス化などを進め、パワーを地域サービス、視聴者コミュニケーションにシフトさせる ◇関連団体への最適な業務委託を検討し、効率的で持続可能な業務体制を実現する ◇ニュースと番組の取材制作の効率化、マルチユースを一層進めることで、地域サービスの質を確保しつつ、健康を最優先に考えた働き方を実現する ◇コンプライアンスを徹底し、リスクマネジメントを強化する	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名	盛岡放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	東日本大震災で被災した人たちの現状や復興の課題を継続的に報道し、記憶の風化を防ぐ取り組みを強化します。災害のおそれがある時は、あらゆるメディアを駆使し、「命と暮らしを守る報道」に全力を注ぎます。	◇東日本大震災の被災地や被災した人たちの現状を継続取材し、復興政策の課題を検証する ◇震災10年やその後を見据え、被災体験や災害の教訓の伝承につながる取り組みを進める ◇災害のおそれがある時は、L字放送を含むテレビ、インターネット、ラジオなど、あらゆるメディアを駆使するとともに、随時県域放送を特設し、防災・減災に寄与する ◇気象予報士などによる日々のニュース、気象情報で、防災意識の向上に貢献する ◇計画的な訓練や設備整備により、緊急報道の実施体制を強化する ◇新運行装置の整備を着実に進め、安定送出体制を強固にする	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	スポーツの祭典に向けた県内の取り組みや、様々な分野での地元関係者の活躍を積極的に発信するとともに、地域の課題に向き合い、未来を考える報道を展開します。	◇ラグビーワールドカップ2019に向けた地元の取り組みや課題、大会の盛り上がり継続取材する ◇東京オリンピック・パラリンピックに向けた県内の準備状況や、地元関係選手の取材を通じて、大会の機運を盛り上げる ◇自然や食、伝統芸能など、岩手の魅力を全国・世界に発信し、観光客の呼び込みにもつなげる ◇スポーツや文化など、様々な分野での地元関係者の活躍を積極的に取り上げる ◇県域ニュースや番組などで、岩手の課題の解決策と未来を探る放送に取り組む ◇公平・公正、迅速・正確な選挙報道を行う ◇県域ラジオ放送の定着・強化を図り、存在感を高める ◇スーパーハイビジョンやVR、ドローンなど、最新技術を積極的に活用する ◇素材のマルチユースにより、全国放送、国際放送、インターネットに効果的に展開する	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	効率的な業務の進め方を追求し、標準化やアウトソース、集約などでパワーを生み出して、視聴者コミュニケーション強化や放送局の戦略立案に取り組みます。	◇企画編成部の業務を仕分けし、標準化やアウトソースなどの見直しに取り組む ◇局全体で、継続して行われている業務について、より効率的なやり方がないかという視点で見直す ◇イベントなどの視聴者コミュニケーション活動を強化し、NHKの存在感、信頼感を高めるとともに、公平負担の徹底に取り組む ◇2020年以降の盛岡放送局が、地域へより貢献するための戦略を立案する ◇視聴率やモニター、視聴者の声などの分析力を強化し、番組の改善に生かす ◇放送倫理とコンプライアンスの徹底を図る	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 福島放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	東日本大震災と福島第一原発事故からの復興に関する報道・番組および防災・減災報道において「公共メディア」としての責務を果たします。そのために放送だけでなく、様々な媒体を活用します。同様に様々な媒体を使って多彩な福島の魅力を伝え、福島の人たちにとってのNHK福島放送局の存在価値を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇震災・原発事故10年を視野に入れた、より多角的な報道・番組発信。</li> <li>◇防災・減災報道の強化、特にL字等を活用したローカル向けのよりきめ細やかな情報発信の強化。</li> <li>◇「ここに福あり fMAP」等の番組やニュース企画を通じた福島の魅力の県外および海外への発信強化。</li> <li>◇東京オリ・パラ関連のニュース・番組発信強化。</li> <li>◇SNS等を活用したネットによる発信の強化。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	<p>不断の業務の見直しと改革を進め、限られた経営資源をより有効に活用します。特に事務部門の業務改革を進め、それによって生み出されたパワーを新たな形の視聴者サービスや福島局のブランド向上に傾注します。編成機能の強化等によって、既存番組の効果的な活用や民放とのコラボ等、新しい発想による地域サービスを強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇すべての部における不断の業務見直しと効率化による総労働時間の削減。</li> <li>◇事務部門の業務標準化・集約化の推進と、それにより生み出されたパワーによる戦略立案機能を強化する。</li> <li>◇地元民放や地元紙とのコラボレーション等による新たな形の地域サービスの開発。</li> <li>◇自局制作番組や支援ソフトの積極的な活用による地域サービスの強化。</li> <li>◇朝ドラ「エール」と連携した地域サービス強化。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	<p>現場での指導教育や研修等を通じ、これからの公共メディア担う人材を育成します。各部において職員だけでなくスタッフまで目を配りながらコンプライアンスを徹底します。「職場環境評価」を参考にすることで風通しの良い職場環境を構築し、効率化を進めながらも福島局で働くひとりひとりの「働き甲斐」を大切にす真の「働き方改革」を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本部や拠点局との連携による研修等を通じた公共メディアを担う人材の養成。</li> <li>◇公共放送に対する視聴者の信頼を裏切らないための、職員・スタッフによるコンプライアンスの徹底。</li> <li>◇職場でのコミュニケーション強化によるより良い職場環境の構築。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	<p>公共放送の存在意義に関する視聴者の理解を促進し、受信料の公平負担を達成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇8年連続の全営業目標達成。</li> <li>◇法人委託の一層の拡大、郵便局等の外部機関との連携強化によるより効率的な営業活動の推進。</li> <li>◇朝ドラ「エール」等、番組と連動した営業活動の強化。</li> <li>◇営業委託スタッフ(個人・法人)も含めたコンプライアンスの徹底。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

部局目標 [2019年度]

局名 青森放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	青森のみなさまの安全・安心の拠点として、緊急報道や防災・減災情報の提供を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害が発生・予想された時、避難の呼びかけや被災情報提供を迅速・正確に実施</li> <li>◇テレビやラジオに加え、L字画面、データ放送、インターネットなど多様な手段で伝達</li> <li>◇過去の災害で得た知見を風化させない、防災・減災に関するニュース・番組を放送</li> <li>◇緊急時の対応体制や対策手順の整備と確認、それらをつまえた定期的訓練の実施</li> <li>◇災害時の情報提供を確実に、安定送出／電波確保／受信環境の体制の整備</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域のみなさまの暮らしに貢献し、ニーズに応え、元気をもたらすサービスを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇視聴者層拡大のため、平日の夕方や金曜夜のテレビ、週末のラジオを中心に充実</li> <li>◇豊かな自然や文化、伝統、産物など青森の魅力を、県内や全国、海外に向け発信</li> <li>◇地域活性化や青函連携など、地域課題を多角的に捉え対策を探り分かりやすく提言</li> <li>◇東京オリ・パラに向けた動向や、人気競技の情報を発信し地域のスポーツを振興</li> <li>◇8Kねぶた祭の生放送や受信展示などにより、SHVの認知度向上と普及を推進</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革を推進するとともに、透明性が高く効率的な組織を目指し、視聴者理解と公平負担を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇勤務に関するルールと管理を徹底し、新たに施行された労働基準法へ円滑に対応</li> <li>◇業務の標準化や集約化、委託内容の精査などにより、より効率的な業務体制を整備</li> <li>◇豊かな創造性をより発揮し、新たなサービスに挑戦や公共メディアへの進化を推進</li> <li>◇コンプライアンスやリスクマネジメントを向上させ、より健全な組織運営を実施</li> <li>◇地域の要望に応えるイベントの実施や公開番組により、視聴者との繋がりを強化</li> <li>◇地域に根差した営業活動と丁寧な説明で、受信料制度への理解や公平負担を向上</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 長野放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	県民の「命と暮らしを守る」防災・減災報道に全力で取り組み、多様なメディアで発信するとともに、地域の課題や魅力を掘り起こし視聴者の期待に応えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ハードとソフト両面で、防災・減災報道への準備・訓練</li> <li>◇発災時には全局態勢でマルチ発信を行う</li> <li>◇少子高齢化など全国の地域が抱える課題を掘り起こして提起</li> <li>◇信州の魅力を国内外に発信し、地域を盛り立てる</li> <li>◇地域のスポーツを応援</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
2	視聴者の皆さまと双方向のコミュニケーションを深めながら、地域に親しまれる放送・サービスを強化します。その上で受信料の公平負担徹底に向け全局を挙げて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域発ドラマやSHV受信公開、放送に関連した事業イベントなど視聴者サービスと一体になった営業を展開</li> <li>◇ケーブルテレビ局との放送面、営業面での協力体制の強化</li> <li>◇インターネットやデータ放送を活用し視聴者の皆さまと双方向のコミュニケーションを推進</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解◇公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求
3	業務改革の視点を十二分に意識しながら、「働き方改革」の一層の推進を図ります。コンプライアンスの徹底に引き続き不退職の決意で取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇既存業務の必要性を検証し、棚卸しと業務フローの見直しを定期的に行う</li> <li>◇研修や勉強会を継続し、意識改革を徹底</li> <li>◇「職場環境調査」や「ストレスチェック」により、職員の創造意欲や成長実感、職場の風通し改善を実証</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求 <span style="float: right;">✓</span>

## 部局目標 [2019年度]

局名	新潟放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	新潟県民の命と暮らしを守る情報、地域の課題解決や合意形成に役立つ情報を発信し続けます。	<p>◇災害時には、ローカル放送を拡充し、防災・減災のための地域のかみ細かい情報を最適なタイミングで発信し続ける。</p> <p>◇災害対応態勢は全局で構築し、放送設備の整備・改善を進める。</p> <p>◇610や金曜730を中心に、人口減少、地方自治、農業・製造業、原発などの課題を掘り下げる企画を放送。</p> <p>◇利害や意見が対立する案件も積極的に多角的に伝える。論点を明らかにし、様々な手法で視聴者の声も生かし、合意形成に貢献。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	新潟県の魅力や強みを県内・全国・世界に伝え、地域の活性化に貢献します。	<p>◇新潟の食、自然、文化、人の魅力を再発見するニュースや番組を、地域に偏りなく発信。全国放送、国際放送への展開を増やす。</p> <p>◇国民文化祭・障害者芸術文化祭やデスティネーションキャンペーンなどと連携し、情報発信の効果を高める。</p> <p>◇野球、サッカー、バスケット、大相撲など新潟ゆかりのチームや選手、また東京2020をめざす県出身選手の情報発信を増やす。</p> <p>◇新潟の魅力を、4K8Kでより効果的に、全国放送・国際放送でより広く、SNS等のネット活用で新たな層に、発信していく。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	視聴者のみなさまに、NHKの公共的価値を実感していただき、受信料制度への理解と納得感を深めていただきます。	<p>◇96%超という世帯支払い率に示される視聴者からの高い信頼と期待を全職員・スタッフが常に念頭に置き、業務を遂行。</p> <p>◇民放との二元体制を強く意識し、「NHKならではの」によりこだわった放送・イベントを視聴者に提供する。</p> <p>◇610キャラバンや地域貢献イベント、公開放送番組の場、さらにSNS発信を通して、視聴者とのコミュニケーションを強化。</p> <p>◇訪問要員の育成・啓蒙を進め、クレーム発生を抑制。ケーブル事業者や事業所団体等と連携を強め、戦略的に営業業績を確保する。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	すべての職員・スタッフが、限られた経営資源を意識し、公共メディアに進化するための業務改革に取り組みます。	<p>◇営業部と放送・技術・企画編成部が連携する業務を増やし、全職員・スタッフが受信料の重みをより強く意識していく。</p> <p>◇経理や勤務等のルールを熟知し、コンプライアンスを最優先。取材先や視聴者の反応を真摯に受け止め放送倫理を血肉化していく。</p> <p>◇これまでの業務フローや慣行を常に点検し、合理的で効率的な業務に改善していく。「視聴者ファースト」を判断基準に置き、自由闊達にスクラップ&amp;ビルドを議論する職場にしていく。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



## 部局目標 [2019年度]

局名 甲府放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災・減災報道と選挙報道に全力を尽くし、地域が直面する課題に向き合い、日々の暮らしを豊かにする放送を届けます。	◇災害時には「L字ファースト」で情報提供するとともに、テレビ・ラジオとともにデータ放送・インターネットでマルチ発信を行う。 ◇富士山噴火に備え、ロボカメ設置など体制を強化する。 ◇平日午後6時台、金曜午後7時台の地域放送番組をさらに充実させ、地域の課題に向き合い、地域に貢献する放送を進化させる。 ◇統一地方選挙や参議院議員選挙では有権者の判断のよりどころとなる報道を行い、視聴者の信頼に応える。 ◇スマートテレビログ解析を有効活用し、日々の暮らしを豊かにする放送を届ける。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	東京オリンピック・パラリンピックへの機運を盛り上げるとともに、視聴者との結びつきを強め、地域に貢献する放送局を目指します。	◇東京オリンピック・パラリンピックへ向け、出場を目指すアスリートを幅広く紹介するとともに、ホストタウンとなった県や市町村の取り組みなどを紹介し、機運を盛り上げる。 ◇「ヴァンフォーレ甲府」、大相撲の郷土出身力士、アマチュアスポーツなどの動向を幅広く伝え、地域のスポーツ振興に貢献する。 ◇ハートプラザのブラッシュアップやツイッターによる番組等情報を間断なく提供することで、県域視聴者とのつながり強化を目指す。 ◇テレビ放送開始60年等の節目に地元民放と協力して番組を制作するなど、放送による地域貢献の充実に努める。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革、オフィス改革、業務改革を推進し、創造性を発揮してのびのび働ける職場を作ります。	◇業務フローを改めて確認するとともに、定型的な業務の標準化・集約化に取り組み、地域サービスの充実や業務の高度化などへのパワーシフトを行う。 ◇改正労基法、新勤務協定、新36協定を正しく理解し、これを遵守した勤務管理・業務管理を徹底する。 ◇オフィス改革後の新たな環境のもとで、コミュニケーションをよりいっそう活性化し、創造性を発揮しながら業務を遂行する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 横浜放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災・減災報道に全力で取り組むとともに、地域の課題や多彩な魅力を広く発信し、視聴者の期待に応える放送・サービスを展開します。	◇大規模災害を想定した緊急報道体制整備と定期的な訓練の実施。 ◇災害時等の確実な電波確保に向けた設備等の整備と訓練の実施。 ◇障害者殺傷事件の続報をはじめ、地域社会の課題に真正面から向き合い、深く掘り下げる放送の展開。 ◇地域の魅力を伝える番組を企画、4K8Kで積極的に制作。 ◇FM放送に加え、R1で神奈川の魅力を伝える放送を展開。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	視聴者コミュニケーション活動を充実させ、地域の活性化に貢献するとともに、受信料の公平負担徹底に取り組めます。	◇ジャズライブなど放送と連動したイベントの充実。 ◇東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーW杯関連イベントを開発し、関連地域の活性化に貢献。 ◇4K8Kの普及促進への積極的な取り組み。 ◇営業と放送を連結したイベントを企画、受信料の公平負担徹底に向けた活動を展開。 ◇受信料制度の理解促進につながる質の高い営業活動の	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	局内コミュニケーションを豊かにして、より効率的で生産性の高い業務体制を構築するとともに、誰もが働きやすい高潔な職場を形作ります。	◇部や職種の枠を超えた人的交流、コミュニケーションを活性化させながら、多様な知恵を結集して最良の業務体制の構築を検討。 ◇業務の担い手一人一人を等しく大切にする意識をすべての職場に浸透させ、誰もが意思疎通しやすく、働きやすい職場を実現。 ◇マネジメント、コンプライアンス等の勉強会を積極的に開催。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 前橋放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の安全・安心に寄与するニュース・番組を提供し、信頼される公共メディアとしてその基盤を万全に整えます。また地域の活性化に貢献する情報・話題をわかりやすく広く発信し、地域のみなさまの期待に応えます	◇県域放送をさらに充実させ、地域の多様な魅力・話題、若者を含め県民の活躍を、日本国内はもとより海外に発信し、県民の要望や期待に応える ◇緊急災害報道に放送・技術をはじめ局全体で取り組むとともに、県域放送の安定送出にむけて設備更新・点検を強化する ◇農林業やさまざまな分野での事業承継を含む労働問題、さらには外国人との共生など、群馬県が直面する課題を掘り下げ、よりよい方向へ進むことをめざし情報発信を行っていく ◇東京五輪・パラ五輪に向け、聖火リレーをはじめ、県内での取り組みや選手の活動などをとりあげ、ふるさと群馬を盛り上げていく ◇統一地方選、知事選、参院選に万全の態勢で臨み、結果、選挙の争点を正確かつ迅速に伝える	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	働き方改革の精神を徹底させ、効率的に業務を進め創造性を発揮できる職場づくりを追求するとともに、公共メディアに携わる者としてコンプライアンスの意識をより一層高めていきます	◇メリハリのある働き方の実現に向けて、これまでの業務を新たな発想でさらなる見直しに取り組む。また適切で法令に沿った勤務管理を行い、働く者の安全と健康を守る ◇コミュニケーションがより活発になるように職場環境の一層の改善を図る ◇働くすべての者のコンプライアンス意識がより深まるようにさまざまな施策や取り組みを進める	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	視聴者との積極的なコミュニケーションを地道に継続して、NHKへの理解促進と受信料の公平負担の推進を図ります	◇公開収録等のイベントやインターネット等の新たなツールを用いてNHKへの理解促進を図る ◇丁寧な対話活動により、視聴者のNHKに対するさまざまな意見や要望を受け止めながら、受信料の公平負担に一層取り組む ◇視聴者に4K8Kの魅力を体感してもらい、普及促進を行う	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 水戸放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の命と暮らしを守る防災・減災報道、緊急報道に全力で取り組むとともに、地域の魅力や課題を広く発信し、多様な地域社会に貢献する“公共メディア”を目指します。	◇地震・台風などの災害時には、いち早く、役立つ情報を発信。 ◇豊かな自然、文化、農業、科学・技術など茨城県の魅力を掘り起こし発信。 ◇医師不足、東海第二原発をめぐる広域避難、再稼働問題など地域の課題を掘り下げ、多角的に取材。 ◇“茨城県民のための役立つ放送”を意識し、平日610「いば6」と金曜730「茨城スペシャル」の内容を充実、接触率の向上。 ◇茨城国体・障害者スポーツ大会、東京五輪・パラリンピックに向けた情報の発信力強化で地元の機運を醸成。 ◇放送の安定送出と受信環境の整備に努め、県域テレビ放送の県南、県西地域の受信率向上を推進。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	視聴者のみなさまとのコミュニケーションを強化し、NHKへの理解促進と受信料の公平負担を推進します。	◇営業の質を高めながら、全局態勢で全営業目標を達成。 ◇公開番組、イベント、広報活動などを通して、NHKの取り組みに対する理解促進と視聴者との結びつきを強化。 ◇インターネットやデータ放送を効果的に活用し、周知広報、視聴者とのコミュニケーションを推進。 ◇BS4K8Kを様々な機会をとらえてPR、受信公開の実施。 ◇視聴者やモニター等から寄せられる声を真摯に受け止め、業務の改善に積極的に活用。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革を徹底し、創造性を発揮できる職場をつくりながら、業務の効率化に取り組みます。	◇改正労働基準法の施行に伴い、新しいルールを守り、新しい働き方を実現。 ◇職員・スタッフがやりがいを持ち、風通しの良い、活力あふれる職場環境の実現。 ◇業務フローの見直しやスクラップ、新しいツールも活用した業務の効率化を実施。 ◇公共放送人としての自覚を忘れず、コンプライアンスを徹底し、リスクマネジメントを強化。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 千葉放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	地域の「安全・安心の拠点」として、放送とデジタルサービスを駆使して、防災・減災・緊急報道に全力を尽くすとともに、地域の課題を掘り下げ、役立つ情報を多角的に伝えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 県域FM放送とデジタルサービスのさらなる充実と周知</li> <li>◇ 災害時を想定した定期的な訓練の実施と自治体や民間FM局との連携</li> <li>◇ 被災地を継続取材し、復興の課題・教訓を伝え緊急時の備えとなる放送をめざす</li> <li>◇ 地域が直面するさまざまな課題を取材し、解決へのヒントを探る</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
2	県内の豊かな自然や歴史・文化・人をテーマに、多彩なコンテンツを展開し、全国・世界に発信するとともに、“地域とつながる”取り組みを展開して放送局の存在感を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 2020東京オリンピック・パラリンピックを見すえて、スポーツ情報や地域の動きを多角的に伝える</li> <li>◇ 成田空港や豊かな観光資源を意識し、全国や世界に向けて千葉をアピールする</li> <li>◇ 新しいツールをいかしながら千葉の魅力を発信する</li> <li>◇ 多様な公開放送・イベントを展開し、存在感を高め理解を深める</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
3	「働き方改革」などを通じて、創造性を発揮できる環境を確保するとともに、コンプライアンスを徹底し、信頼される放送局として地域に貢献します。また、既存業務の抜本的な見直しなど、業務改革を一層推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「働き方改革」を進め、創造性の発揮できるより良い職場環境を構築する</li> <li>◇ コンプライアンスを徹底し、NHKに対する信頼を高める</li> <li>◇ 受信料制度の理解促進、受信料の公平負担の徹底に努める</li> <li>◇ 定型的な業務の標準化・集約化を進め、パワーシフト可能な体制を構築する</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求 <span style="float: right;">✓</span>

## 部局目標 [2019年度]

局名 宇都宮放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	栃木県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全力を尽くすとともに地域の安全・安心に寄与し、信頼される放送局を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇事件・事故・災害など緊急報道のための対応力強化</li> <li>◇データ放送・インターネットなどマルチ発信を行う</li> <li>◇安定送出と電波確保に努め、いかなる時も放送を安定的に届ける</li> <li>◇気象情報を充実し、防災・減災につながる情報発信に取り組む</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	伝統・文化、豊かな自然環境に恵まれた魅力ある栃木県を公共メディアとして国内、世界に広く発信し地域の活性化に貢献します。 さらに地域の課題や栃木県民のみなさまの期待に応えられるよう地域放送の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇県域放送を充実し、栃木県自然、観光、伝統文化など県の魅力を国内外に発信する</li> <li>◇人口減少による県内経済への影響や医療・教育など地域の課題に向き合い、解決に向けた情報を伝える</li> <li>◇目前に迫った東京オリンピック、パラリンピック、2022年の「とちぎ国体」に向けて栃木県のスポーツを盛り上げる</li> <li>◇データ放送を利用した双方向番組などを展開し地域放送の充実を図る</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	受信料制度の理解促進と公平負担の徹底を目指します。また、これまで以上に業務改革をすすめ放送サービスや公開番組など視聴者のみなさまに満足していただける取り組みを展開します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇法人事業者の開発・育成とケーブルテレビ・特約店との連携を強化し効率的・効果的な営業活動に取り組み、全局態勢で全目標の達成に取り組む</li> <li>◇業務改革をすすめ、放送サービスや地域イベントを充実する</li> <li>◇地域の身近な放送局となるよう、各種調査などを活用して県民のみなさまに満足していただける地域放送局を目指す</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 さいたま放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の安全・安心な暮らしを守るため、防災・減災、緊急報道、選挙報道を充実するとともに、大規模災害時に本部のバックアップ機能を果たすための体制を強化します。	◇新たな災害に備えて防災・減災報道を強化し、取材やライブライン放送、ロジスティックスの体制を強化します。 ◇本部のバックアップ機能である報道別館について、本部や近隣局などとの連携を強化し、定期的な習熟訓練により、大規模災害時の報道を充実します。 ◇統一地方選挙や参議院議員選挙、県知事選挙ほか万全の準備を行い、正確・迅速で公平・公正な選挙報道を実施します。 ◇東日本大震災をはじめ、被災者や復興を支援する放送などを推進します。 ◇放送の安定送出と電波確保に必要な体制を強化し、地域の安全・安心を支えます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	テレビ、ラジオ、インターネットなど、多彩なメディアで地域の魅力を全国・世界へ発信し、視聴者コミュニケーション推進や受信料の公平負担への理解促進に全局で取り組み、営業目標を達成します。	◇東京2020大会などを契機に、埼玉県の多様な魅力を発掘して、テレビ・ラジオさらにはインターネットへ積極的に展開し、全国・世界に情報発信します。 ◇公開番組やイベントを充実し、視聴者コミュニケーションを推進することで、地域の活性化に貢献します。 ◇視聴者のみなさまに信頼される公共放送として、丁寧な対応を徹底し、受信料制度の理解促進に繋がる活動を展開します。 ◇受信料の公平負担徹底に向けて、営業改革をより一層推進し、支払率・衛星契約割合の1ポイント向上とともに、全営業目標達成を図ります。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	集約化や平準化など既存業務の見直しを進めることで、業務量の季節変動や時間変動を抑制して働き方改革を推進し、創造性を発揮できる環境を整えます。	◇年間計画で業務量の季節変動を明確にし、関連会社や外部パワーとの連携をより一層強化することで、長時間労働の抑止や休暇の取得など働き方改革を進めます。 ◇定型的な業務の標準化や本部への集約により、より戦略的な業務運営や放送局マネジメント機能の強化を図ります。 ◇スペース&オフィス文化改革を醸成し、生産性の向上と効率性を追求するとともに、快適でクリエイティブな職場環境を実現します。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 名古屋放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	人々の命と暮らしを守り、地域の課題や魅力を積極的に発信します	◇南海トラフ巨大地震への備え、記録的豪雨などの自然災害への対応を強化し、災害時のマルチ発信を的確に遂行 ◇統一地方選挙や参議院議員選挙などの選挙報道では、公平・公正、正確・迅速な情報を提供 ◇平日夕方の情報番組の充実とともに、中部地方共通の課題に向き合う番組や東海3県向けの地域密着番組を制作 ◇中部地方の魅力を取り上げた番組を制作するとともに、4K・8Kにも積極的に展開 ◇ドラマやエンターテインメントなど幅広い世代の関心に応える多彩なジャンルの番組を制作 ◇地域のスポーツやアスリートを積極的に取り上げ、「東京2020」に向けて、地元ゆかりのアスリートを応援	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	視聴者サービスを充実させ、支払率・衛星契約割合の向上に取り組みます	◇公開番組の収録やイベント開催などの地域サービスを展開するとともに、受信料の理解促進に全局体制で取り組み、幅広い世代の視聴者との結びつきを強化 ◇4K・8Kの認知度向上・普及促進活動を積極展開 ◇より効率的、効果的な営業活動の推進により、受信料の公平負担を徹底	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	業務改革を推進し、創造性を発揮できる職場と信頼される放送局を目指します	◇名古屋放送局に関わるすべての人の健康に留意し、「NHKグループ 働き方改革宣言」を着実に遂行 ◇既存業務の見直しなど、より効率的な業務運営を推進し、拠点放送局としての支援・調整機能を強化 ◇コンプライアンスを徹底するとともに、リスクマネジメントを強化	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓



## 部局目標 [2019年度]

局名 金沢放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	新放送会館の最新の放送設備機能を生かして日頃より正確・迅速なニュース・報道番組に取り組みと共に、防災・減災報道に努め、災害時には正確・迅速な情報発信を行い地域の人たちの暮らしと財産を守る安心・安全な報道体制の確立を目指します。また選挙では公平・公正な報道に万全を期すなど、公共メディアとしての役割を果たします。	<p>◇大地震や落雷などへの災害対策を強化した新会館で、石川県民の命と暮らしを守ることを最優先に、日頃からテレビ・ラジオで防災・減災につながるニュース・報道番組に取り組みます。</p> <p>◇巨大台風や集中豪雨、地震などの災害時には、L字画面の情報発信をベースに、インターネットやデータ放送できめ細かく生活情報などを発信していきます。</p> <p>◇新会館により機能アップしたIP技術を生かした映像伝送で災害時はもちろん日頃より迅速で機動的な取材を行うとともに、映像編集など最新の放送設備を活用して報道体制の強化を実現します。</p> <p>◇いかなる状況でも放送・サービスを継続するため、新運行システムを始めとした放送設備の適切な運用と遺漏のない保守管理を徹底します。</p> <p>◇統一地方選挙や参議院選挙では、有権者の判断の拠り所となる情報の提供に努め、公平・公正、正確・迅速な報道に尽力します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	北陸新幹線開業5年目となり東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博、敦賀延伸を控え、益々注目が集まる石川県の魅力と課題をニュースや番組で多角的に放送。国際放送で海外にも発信することで世界各国に石川県の魅力を紹介します。番組では「かがのとイブニング」の刷新や金曜730の増設などで地域改革を実現し地域サービスの充実を図ります。また新会館オープン1周年記念事業に取り組みとともに、2020年度に放送開始90周年を迎える金沢局の記念イベントのプロジェクトも発足します。	<p>◇地域におけるニュース・報道の基幹番組である「かがのとイブニング」を大幅にリニューアルし、幅広い県民のニーズに応え、長く愛される番組に成長させます。</p> <p>◇地域改革を一層推し進めるために、金曜よる730をタイムリーな話題の新作や石川に縁のある様々な支援番組を活用して魅力溢れるローカル枠にする事を目指します。</p> <p>◇北陸スペシャルを引き続き北陸3局で共同制作すると共に、多くの県民が視聴している毎朝745ニュースの内容をさらに充実させるために北陸3局で協力して企画立案するなど、北陸3県の地域サービスの向上を目指します。</p> <p>◇新会館オープン1周年となる10月に記念番組を制作すると共にスーパーハイビジョン4K8Kなどを生かした様々なイベントを企画し多くの県民にNHKの存在をアピールします。</p> <p>◇受信料の公平負担の実現を目指し、受信料制度の理解促進に向けた番組やイベント、公開放送など放営一体となった様々な取り組みを行い営業目標達成を目指します。</p> <p>◇ニュースや番組を積極的に国際放送で発信することで、食や伝統文化・伝統工芸で注目が集まる石川県の魅力を海外の人たちに紹介しインバウンドにも貢献できるよう努めます。</p> <p>◇放送開始90周年を迎える2020年度に向けてプロジェクトを作り準備を進めていきます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	改正労基法の施行に伴い、職員の命と健康を守るための「働き方改革」を加速させ、働きやすくやりがいの溢れる職場の実現に向けて業務改革を進めていきます。また視聴者に信頼されるNHKの実現を目指し職員ひとり一人のコンプライアンスを徹底します。	<p>◇2年目を迎える北陸3局泊まりのさらなる定着を図り記者の負担軽減に取り組むとともに、アナウンサーの負担軽減策についても具体的な対応を検討していきます。</p> <p>◇改正労基法施行に伴いタイムカードの打刻を徹底すると共に、従来の業務サイクルを徹底的に見直すなど、既成概念を捨てた新たな業務改革にトライします。</p> <p>◇職員やスタッフのコンプライアンスの徹底を図ると共に、様々なリスクに向けた対策を行います。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 静岡放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の皆さまの安全・安心な暮らしに貢献する防災・減災情報の発信拠点として、いかなる災害の際にも的確な放送・サービスを展開し、正確な情報を迅速かつきめ細かく発信します	<p>◇台風、大雨や河川の氾濫、竜巻などの災害が発生した場合、地域の皆さまが必要とする正確な情報を、地域放送やインターネットで迅速かつきめ細かく発信します。情報発信を早めに開始して備えを呼びかけ、地域の防災・減災に貢献します。</p> <p>◇巨大地震や大津波、富士山噴火など、大規模災害が発生した場合にも的確に放送・サービスが展開できるよう、マニュアルを不断に見直し万全の備えを進めていきます。</p> <p>◇新放送会館を安定運行するとともに設備整備も進め、地域の皆さまを守る情報発信拠点として強靱な体制を構築します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域改革を推進して静岡県の活性化・課題解決・質の高い文化の創造に貢献し、NHKの地域での存在感をさらに高めるとともに、より多くの視聴者の皆さまにとって、身近で役に立つ放送・サービスを展開していきます	<p>◇キャンペーン「静岡から世界へ」などを通じて、静岡県の様々な魅力を全国へ、そして世界に発信していくとともに、イベントなど多様な視聴者コミュニケーションの取り組みを県内各地で展開します。ラグビーW杯や東京オリンピック・パラリンピック関連のニュースや番組なども積極的に展開し、県内の機運を盛り上げていきます。</p> <p>◇地域経済の停滞、人口減少と少子高齢化、教育や医療・福祉など地域の課題に正面から向き合い、解決策を模索することで地域活性化・課題解決に貢献します。</p> <p>◇各種調査を実施して地域の視聴者ニーズを的確に把握し、610を充実させ、金曜730の地域放送を増やし、地域における存在感を高めていきます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	活力あふれるクリエイティブな職場とするため、既存業務を見直し新放送会館の最新のITオフィス環境を生かした効率的でやりがいのある新たな働き方の創出を目指します コンプライアンスを徹底させるとともに、受信料制度の理解促進と公平負担の徹底を地域放送・サービスの充実とも連携させながら推進します	<p>◇既存業務を見直し、新放送会館の最新のITオフィス環境を生かして、効率的でやりがいのある、ポジティブで新しい働き方の創出を目指します。職員業務の高度化と一人一人が成長を実感できる人材育成を行い、活力あふれるクリエイティブな職場作りを進めます。</p> <p>◇地域の皆さまの受信料制度への理解促進と公平負担の徹底を、地域改革による地域放送・サービスの充実とも連携させながら推進していきます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 福井放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民のいのちと暮らしを守るため、災害や原発などの報道を充実し、確かな放送を届けます。	豪雨、大雪などの自然災害や原子力災害などについて、緊急報道を含め、きめ細かく伝える。また、電波確保、安定送出に努め、常に確かな放送を出す。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の課題解決や福井の魅力を様々な形で県内外に発信し、公共メディアとして地域貢献に努めます。	人口流出などの課題解決や幸福度日本一の検証といった報道、そして、地域発ドラマの制作などで地域貢献に努める。また、放送と連動したイベントの開催、SNSでの発信、さらには、4K8Kの制作にもチャレンジし、県内はもとより、全国、世界への発信を試みる。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革をはじめ、業務の改革を行い、信頼されるNHKとして、受信料の公平負担に取り組めます。	働き方改革や事務部門改革などを行い、やりがいのある、効率的な職場をつくる。また、コンプライアンスを順守し、信頼される組織を確立する。受信料の公平負担に即ちその理解を求め、10年連続全営業目標達成に取り組む。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 富山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	多彩なコンテンツの充実を通じて、富山の魅力を全国・世界に積極的に発信し、地域社会に貢献します。	◇地域の新たな魅力や課題を発掘し、地域はもちろん全国・世界に発信。 ◇「多様性」をテーマに、誰もが輝ける社会を実現するための取り組みを実施。 ◇「東京2020」や「SHV」関連イベントなどを通し、視聴者と直接触れ合う機会を増やし、結びつきを強化。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	人々の安全・安心を守り、地域の課題に向き合う放送・サービスをより充実させます。	◇地域の課題に正面から向き合い、事件事故、経済、行政、文化などさまざまな側面から多角的なニュース・番組を展開。 ◇地域の安全で安心な暮らしを守るため、防災・減災、緊急報道を充実・強化。マルチ発信など多様な伝送路を活用し、視聴者に役立つきめ細かい情報を提供。 ◇選挙報道を公平・公正、的確に実施。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	コンプライアンス遵守を徹底し、ワークライフバランスに配慮した働き方改革を進めるとともに、業務改革を一層推進し、受信料の公平負担の徹底をめざします。	◇より一層のコンプライアンス意識の醸成を進めるとともに、局内のリスク管理体制を強化。 ◇ワークライフバランスへの配慮や抜本的な業務改革に取り組み、働き方改革を推進。 ◇公共放送への理解促進活動を通じた受信料の公平負担の徹底。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 津放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の安全・安心を守る公共放送として災害報道に全力をあげるとともに、三重県の魅力を国内外に発信し地域の活性化に貢献します。	◇災害報道、事件事故などの緊急報道への体制強化を図ります。 ◇南海トラフ大地震への備えとして防災・減災情報を定期的に発信し、県民の生命と安全を守ります。 ◇「まるっと！みえ」などの地域放送番組を通じて地域の課題に向き合うとともに、4K・8K・インターネットなどさまざまなメディアを生かして、三重県の伝統文化や豊かな自然環境など地域の魅力を国内外に発信します。 ◇放送の安定送出と電波確保に努めます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	番組やイベントを通じて公共放送の理解促進と受信料の公平負担の徹底に努め、地域の皆様に親しまれる放送局を目指します。	◇積極的な営業支援により、全営業目標達成に向けて全局体制で取り組みます。 ◇会館公開や番組連動イベント、公開派遣番組などを通じて視聴者との結びつきを強め、公共放送の理解促進を図ります。 ◇法人事業者、ケーブルテレビや特約店との連携により、さらなる取次ぎ実績の向上とお客様対応品質の向上に努めます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	コンプライアンスの徹底を図り、職員・スタッフひとりひとりの働き方改革と業務改革への意識を醸成し、創造的で活力のある職場作りに努めます。	◇風通しのいい職場環境を作り、計画的な休暇取得と計画的な業務運営により、創造的で活力のある職場を作ります。 ◇公共放送で働く者としての意識を高く持ち、業務の効率化を図るとともに、適正経理の推進とコンプライアンスの徹底を図ります。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 岐阜放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	定時放送番組の内容充実や地域支援ソフト等の積極的な活用で、地域放送のさらなる充実をはかり地域サービスにつなげるとともに、災害報道・減災報道のための整備や訓練を進め安定した送出を維持し、地域に貢献するNHK岐阜放送局の存在をアピールします。	◇2年目を迎える「まるっと！ぎふ」の魅力アップを図り、多彩な企画で多くの人にNHK岐阜放送局の存在をアピールする。 ◇デイリーの取材・制作を発展させ計画的、効率的に地域サービスを充実させるほか、本部制作の地域支援ソフトなども活用し、「ぎふスペシャル」を定期的に編成する。 ◇県の河川カメラの活用など災害報道・減災報道のための整備や訓練を進める。 ◇基幹局(上加納)の更新など、慎重かつ確実に設備更新を進め、安定した送出を維持する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	岐阜局全体で、大河ドラマ「麒麟がくる」PR展開に取り組み、地域放送局としてのステーションイメージの向上に努めます。また、局内の連携をさらに強化し大河ドラマ「麒麟がくる」放送を機に「岐阜県」を元気にする活動推進して、営業活動にも結び付けます。	◇大河ドラマ活用プロジェクトとして、チャレンジ80+プロジェクトと連携したプロジェクトを新たに立上げ全局展開を図る。 ◇局内プロジェクト(「安全安心プロジェクト」「チャレンジ80+プロジェクト」「管理職連絡会」)を活用し、部局全体の情報共有化をはかり、地域放送局の使命を果たす体制作りに努める。 ◇視聴者からの期待に応える一方で受信料制度への理解を求め、支払率、衛星契約率のさらなる向上に注力する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	オフィス改革を進めるとともに、コミュニケーションの一層の活性化を図り、各自がその個性と能力を十分に発揮できる、風通しのいい働きやすい職場をつくります。また、改正労基法が施行される今年、「働き方改革」の一層の推進を図ります。	◇働きやすい職場を目指し、3F居室(放送部・技術部)のスマートオフィス化を進める。あわせて局内無線LAN化も実施、保管資料や資材の整理など局全体のオフィス改革を進める。 ◇法改正にあわせ「働き方改革」をさらに推進して、適正な勤務管理や業務管理に努める。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名	大阪放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	安全・安心のよりどころとなるニュース・番組を提供するとともに、より信頼される“公共メディア”を進化させ、その基盤を整備します。	◇本部のバックアップ機能の充実・強化と南海トラフ巨大地震など 関西での災害時における情報発信に向けた機能強化・運用実施体制の充実。 ◇阪神淡路大震災・東日本大震災の教訓を生かした震災報道、広域化・激甚化する台風・大雨等の自然災害への対応など減災・防災・復興に役立つニュース・番組を、さまざまな伝送路を利用して地域をはじめ全国・世界に発信。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	魅力あふれる関西の活性化にむけて、地域に貢献し、地域により親しまれる多彩で質の高い放送・サービスを展開します。	◇グローバル化、少子高齢化時代に複雑・多様化する地域の動向と課題を的確にとらえ、判断のよりどころとなるようなニュース・情報を提供。 ◇ドラマ・芸能、歴史・文化、福祉、経済、科学・医療、スポーツやアジア関連情報などの放送・サービスを充実させ、地域や全国、さらに世界に発信。 ◇関西の豊富で貴重なコンテンツ素材を生かし、スーパーハイビジョンやインターネット展開など、新しいサービスを充実。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	視聴者のみなさまとの積極的なコミュニケーションを強化し、NHKの理解促進と公平負担の推進を図ります。	◇より効果的・効率的な営業体制の構築や営業対策の充実・強化など営業改革を徹底し、全局一体となって受信料制度の理解促進に努め、受信料の公平負担を推進。 ◇地域に根ざしたイベントや広報など、視聴者との結び付きの強化に向けた双方向のコミュニケーションを通じて、NHKに対する親しみを一段と向上。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	「業務改革」「働き方改革」を一層すすめます。既存業務の見直しに取り組み生産性向上にむけたパワーシフトを推進します。長時間労働に頼らない組織風土と、ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の実現を目指します。	◇既存業務の見直しにより効率的で生産性の高い業務体制の構築を推進。 ◇働き方改革とワークライフバランスを推進するため、適正な勤務管理を進めるとともにオフィス改革などより働きやすい職場環境を整備。 ◇コンプライアンスを徹底し、公共メディアを担う強じんな組織を構築。 ◇広域支援を強化し、地域サービスの充実と働き方改革に貢献。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 京都放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	京都府民にとって最も身近で最も信頼できる情報メディアになるために、「ニュース630京いちにち」のリニューアルを軸に、府民が求める情報発信の充実・強化に全局を挙げて取り組みます。	◇正確で公平・公正なニュースに加え、多発する自然災害に備えてよりきめ細かな気象情報の提供や、効果的な災害情報伝達の強化を放送とネットの両面で図り、府民の安心安全に寄与する。 ◇統一地方選、参院選、京都市長選と相次ぐ選挙に向け、有権者の判断の拠り所になる報道を充実させる。 ◇京都市以外の府内の魅力や活性化策を発信し、地域振興に貢献。 ◇放送の要の運行装置や送受信の大規模更新工事を確実に遂行。 ◇上記等の成果を地域指標やスマートTVログの数値向上で測る。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	国際文化観光都市KYOTOへの関心が世界的に急上昇する中、京都で育まれた伝統文化の魅力や本質を深く掘り下げる番組を戦略的に制作し、海外展開も見据えた発信をめざします。	◇今年に祇園祭創始1150年に国際博物館会議(ICOM)、来年は東京オリ・パラに伴う日本博、再来年は文化庁全面移転と京都文化への関心が急上昇することを見据え、今後3年の番組戦略を策定する。◇2019年度は「文化」をテーマにした特集を複数本制作する。 ◇ニュースも含め、国際放送への展開を積極的に目指す。 ◇4K8Kでの制作や新しいスタイルの番組作りの経験を増やす。 ◇並行して、地域の課題や新しい動きを敏感に伝える機動力のある番組制作にも傾注する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	京都府内の支払い率のさらなる向上をめざして、公共放送や受信料制度への一層の理解促進に取り組むと共に、視聴者とのタッチポイントを増やすイベントを強化します。	◇11年連続の全営業目標達成を全局体制で実現させる。 ◇目標の「1・2」とも連動し、8Kプラザへの来館者数をさらに増やせる新たなイベントや受信公開の方法を開発する。 ◇2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」に向けて、関連自治体とも連携しながら、効果的なPRを推進する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
4	「働き方改革」と「仕事のやりがい」そして視聴者から見た「成果」がベストマッチする業務運営をめざして、ムダをなくすためのさらなる業務の見直しや職場内のコミュニケーションの活性化を追求します。	◇3年ぶりの内部監査を健康診断として受け止め、業務運営の改善やコンプライアンスの徹底に活かす。 ◇大阪局との事務部門の連携策を具体的に検討する。 ◇各々が工夫して勉強会や研修を行い、一般職がモチベーションやコンプライアンスへの意識を常に高い状態に保てるように努める。 ◇職員が部を超えて交流できる機会を増やす。 ◇上記などの施策の成果を職場環境評価などで測る。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓



部局目標 [2019年度]

局名 神戸放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	～暮らして愛して兵庫県～ 命と暮らしを守り、地域に資する放送・サービスで、視聴者のみなさまの期待と信頼に応えます	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇阪神・淡路大震災25年関連報道、震災からの教訓の伝承</li> <li>◇防災・減災報道や緊急災害時対応機能の強化</li> <li>◇630の刷新。兵庫五国(摂津・播磨・但馬・丹波・淡路)の多角的できめ細かい話題・情報の発信、課題の検証</li> <li>◇公平・公正、正確・迅速な選挙報道</li> <li>◇スーパーハイビジョンのコンテンツ制作と普及促進</li> <li>◇放送の安定送出、受信環境の整備</li> <li>◇兵庫県や神戸市等自治体との連携等による地域社会への貢献</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	公共放送への理解促進と受信料の公平負担徹底を図り、視聴者のみなさまとの結びつきを深めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇営業目標の達成、過去最高の支払率の確保</li> <li>◇公開収録やイベント、放送等を通じた受信料制度への理解促進</li> <li>◇「トアステーション」の効果的な活用</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	公共放送にふさわしい人づくりと健全で多様な働き方を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇適正な勤務管理と計画的休暇取得</li> <li>◇適切な外部パワーの活用とメリハリのついた業務運営</li> <li>◇ワーク・ライフ・バランスの実現</li> <li>◇より高い倫理観の醸成と法令順守の徹底</li> <li>◇新しい時代を担う人材の育成</li> <li>◇活力ある風通しのよい職場環境作り</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 和歌山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	◇「和歌山に貢献します」  質の高い多彩なサービスの実現に放送局をあげて取り組み地域に貢献します。	◇台風や大雨などの大規模災害の発生時に被災者が求める災害情報・生活情報をテレビ・ラジオ・インターネットを活用し正確かつ迅速に届ける。そのための設備強化・体制整備を継続する。 ◇南海トラフ巨大地震に備えるため、地域の「防災放送局」として防災や減災につながる放送やイベントを実施する。 ◇和歌山の魅力や課題、地域ならではの取り組みを全国に発信し国際放送に展開する。 ◇満足度の高い番組やイベントで心豊かな地域社会の実現に貢献する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	◇「つながりを深めます」  多様な取り組みで視聴者との絆を深め地域の期待に応えます。	◇視聴者の要望や意向を受け止め、つながりを深める。 ◇公開番組やイベント、ホームページなど多様な取り組みで視聴者との絆を深めNHKに対する満足度・信頼度を高める。 ◇幅広い世代に公共メディアの役割や受信料制度への理解促進を図り公平負担を徹底する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	◇「働き方改革をさらに推進します」  働き方を見直し創造性を発揮できる環境をつくります。	◇長時間労働に頼らない職場環境をつくる。 ◇業務改革や業務の見直しを進め効率的な働き方を追求する。 ◇ワーク・ライフ・バランスを充実させ豊かな人間性を育む。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名	奈良放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「ならナビ」など地域放送を充実させるとともに「安全・安心の情報発信拠点」として地域に貢献します。また、テレビ・ラジオ・インターネットを活用し、地域の活性化につながる情報発信で公共メディアとして役割を進化させます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「ならナビ」企画の“奈良ネタ率”85%以上を確保する。</li> <li>◇地域の気象情報を詳しく伝えるとともにいざというときの防災・減災放送に全力を挙げる。</li> <li>◇正確・迅速な選挙報道を行い、地域の民主主義に貢献する。</li> <li>◇地域の経済・観光・スポーツ・福祉などの活性化や発展に貢献する。</li> <li>◇放送とデジタルの連携を強化し、L字やデータ放送、ネットを活用した情報発信を行う。Lアラートや各種情報カメラなどの外部情報も活用する。</li> <li>◇地域指標の「平日18時」の接触・質的評価の向上と、同「地域の活性化への貢献」の向上を目指す。</li> <li>◇スマートTVログの分析により、地域放送の編成、内容を随時見直す。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	スーパーハイビジョンの技術も活用し、質の高い番組の制作を通して、奈良の魅力を国内外に発信します。また、放送や事業を通して、奈良県民により親しまれる放送局を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇国内外から注目される奈良にふさわしい良質な番組を制作する。</li> <li>◇スーパーハイビジョンで、世界遺産、文化財、豊かな自然や暮らしなどを積極的に撮影し、番組制作する。</li> <li>◇奈良関連の全中番組を奈良県域で編成し、地域放送の充実を行う。</li> <li>◇公開派遣番組や事業イベントを通して、県民との交流の場を創出する。</li> <li>◇広報に力を入れ奈良単の接触率を上げる。</li> <li>◇新会館の設備整備計画に万全を期す。</li> <li>◇親しまれる放送局を目指し、奈良放送局のブランディングを行う。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	公共放送の理解促進と受信料の公平負担の徹底を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇NHK営業の基本目標である「支払総数増加」「衛星契約増加」を必ず達成するとともに、その要素である「契約総数増加」「未収者削減」「口座・クレジット増加」目標を達成する。</li> <li>◇契約取次の品質を高めるとともに、「お客様の声」に注目し、より丁寧な訪問活動を行う。</li> <li>◇訪問によらない契約活動の促進し、更なる支払率の向上に取り組む。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	既存業務の見直しなど、業務改革や働き方改革を進めます。また、リスクマネジメントを強化し、コンプライアンスを徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇拠点局と連携し、定型業務の集約化、標準化を進める。</li> <li>◇業務の効率化により、視聴者コミュニケーション活動に重点的に取り組む。</li> <li>◇新会館のスマートオフィス化の計画を具体化させる。</li> <li>◇個人情報の保護を徹底する。</li> <li>◇情報セキュリティの強化を進める。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 大津放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災・減災報道に全力で取り組むと共に、安全で安心な暮らしに貢献します。	◇いざという時に頼りになる放送局として、防災・減災につながる放送やサービス、イベントを実施する。 ◇災害時には被災者が求める災害・生活情報を確実に届けられるよう全局体制で訓練・習熟を行う。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	地域が抱える課題に向き合うと共に、魅力ある自然・歴史・文化・暮らしなどを発信します。	◇細やかな取材を重ね、課題や解決策を提起しながら、活力ある地域の発展に貢献する。 ◇4K・8Kならではの映像と音響にこだわり、自然や人々の営みを丁寧に記録し、その魅力や特色を全国・世界に発信する。 ◇朝の連続テレビ小説と大河ドラマの制作を機に、地域との絆をさらに深め、NHKへの信頼度・満足度の向上を図る。 ◇「東京2020」に挑むアスリートや支える人々を積極的に取り上げる。 ◇多様化する視聴者意向に対応しながら、受信料の理解促進・公平負担を徹底する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	既存業務の抜本的な見直しにより、創造的で効率的な体制を確立します。	◇拠点局・近隣局との連携を密にし、業務支援の導入を進める一方、廃止や委託などの視点から既存業務の抜本的な見直しを進める。 ◇やりがいを持ちながら専門性を伸ばす業務体制を構築し、人材育成に力を入れる。 ◇多様な人材が生き生きと仕事をし、豊かな人間性が育まれる職場環境を創造する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 松山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	西日本豪雨災害での経験を踏まえ、四国の皆様の命と暮らしを守る情報を様々な手段で発信し、公共メディアとしての役割を果たします。	<p>◇南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、実践を見据えた効果的な訓練や機能の継続に重点をおいた設備整備、後方支援の強化を行い、ソフト・ハード両面で強靱な体制を作ります。</p> <p>◇災害発生時は、安全・安心に役立つ地元の情報を第一に、NHKが持つあらゆる伝達手段で、きめ細かく伝えます。</p> <p>◇西日本豪雨災害からの復興を後押しする放送やイベントを継続するとともに、豪雨災害から得た教訓を防災・減災に役立てていきます。</p> <p>◇公平公正で、わかりやすく、親しみのある選挙報道を行います。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地元密着をさらに進め、4K8K等最新技術も活用しながら、親近感あふれる放送・サービスを展開し、公平負担の推進にもつなげます。	<p>◇地元の人達の見たい、知りたい番組を調査・分析し、県域番組のさらなる充実を図ります。また、管中番組では、四国共通の話題や課題を深く掘り下げます。</p> <p>◇多彩な地域の魅力をニュースや番組、インターネットなど、さまざまな手段で発信するとともに、放送局をより身近に感じてもらうキャンペーン展開も行い、地元の元気に貢献します。</p> <p>◇地元を応援、支援するイベントや公開番組を、4K8K・VRなど最先端技術も活用し展開します。</p> <p>◇四国が舞台の4K8Kコンテンツ制作やSHV放送の魅力を伝える広報活動を積極的に展開し、より身近なSHVでお茶の間への浸透を図ります。</p> <p>◇放送やイベントと連携した受信料の理解促進活動など、公平負担と安定した収入確保へ向け一層取り組みます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方も含めた業務の一層の見直しを図るとともに、リスク管理やコンプライアンスも徹底し、将来につながる持続可能な組織作りを行います。	<p>◇限られた要員や予算を最大限生かすため、効率性の観点からブロック内の業務の進め方を見直し、生まれたパワーで業務の高度化を図ります。</p> <p>◇働き方改善に結びつく独自施策や職場のコミュニケーションを高める取り組みを実施し、全員が働きやすく、改正労基法へも適正に対応できる職場環境を作ります。</p> <p>◇急速な社会環境の変化がもたらすITや労務に関連するリスクに対応するため、専門家による勉強会や職場指導で職員・スタッフの知識と意識の向上を図ります。</p> <p>◇コンプライアンスの徹底に向け、一人ひとりが当事者意識を持つ施策を着実に実行し、視聴者からの信頼を堅持します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 高知放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の命と暮らしを守るため、迅速かつ信頼できる情報の発信に全局態勢で取り組み、より多くの「安全・安心」に貢献します。	<p>◇本部や拠点放送局との連携を一層密にするとともに、朝倉サテライトスタジオの日常的活用や様々な想定訓練を行い、南海トラフ巨大地震、ならびに大雨や台風などの緊急放送態勢を強化します。</p> <p>◇南海トラフ巨大地震に備え、設備整備と技術対応力強化を図り、確実な電源確保で放送・サービスを継続します。</p> <p>◇テレビ・ラジオ・インターネットで防災・減災に役立つ情報を日常的に発信します。災害発災時には命を守る情報の提供に全力を尽くします。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	県民のニーズに応えるきめ細かな地域情報を届け、地域の豊かさや課題を共有するとともに、県外に高知の魅力を広く伝え、地域の発展に貢献します。	<p>◇「とさ金」の放送本数増加、「こうちいちばん」の内容の充実、正確で公平・公正な選挙報道などを通じ、県民にとって大切な情報をより深く、わかりやすく伝えます。</p> <p>◇高知県の歴史、自然、食文化、魅力的な人々の姿を、スーパーハイビジョンでの制作も採り入れながら、県内、県外、世界へと発信します。</p> <p>◇過疎高齢化など高知が直面する課題に真摯に取り組みます。</p> <p>◇イベントや公開放送を積極的に実施するとともに、インターネットでの情報発信を強化し、視聴者のみなさまとともに地域を盛り上げ、県民の期待に応えます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	業務改革を一層推進して効率的な業務運営を進めるとともに、視聴者との結びつきを強化し、公共メディアと受信料制度の理解促進を図ります。	<p>◇業務内容を見直し、不必要な業務の廃止、重複業務の集約などを通じ、適正な業務運営で、コストの削減を行います。</p> <p>◇コンプライアンスの徹底とリスク対策を強化し、公共放送人として、倫理教育の行き届いたいきいきとした職場環境をつくります。</p> <p>◇NHKの使命や役割や新たな役割を積極的に広報し、視聴者との結びつきを強化します。</p> <p>◇全局態勢で視聴者へ受信料制度の理解を図り、公平負担を促進します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 徳島放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	緊急報道、防災・減災報道に全力で取り組み、徳島が抱える課題に正面から向き合い、県民の命と暮らしを守る地域の安全・安心の拠点として、より信頼される放送局を目指します。	◇独自の地震訓練をより実効性のある形で実施し、サテライトスタジオの普段使いを強化して初動態勢を整え、ロジの運営をブラッシュアップし、電波確保に万全を期す。 ◇人口減少や阿波おどりの運営問題など徳島の課題をニュースで取り上げ、番組で掘り下げる循環を作って、情報の社会的基盤としての役割を果たす。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	視聴者ニーズを調査、分析して、県域放送を充実させ、徳島の魅力と価値を、最先端の映像技術やインターネットを使いながら全国・海外にも発信して地域の活性化に貢献し、視聴者とのコミュニケーションを深化させて、より親しまれる放送局を目指します。	◇「とく6徳島」の接触率と「あわとく」の認知度の向上を図り、様々な視聴者コミュニケーション活動を推進して、地域におけるNHKのステーションイメージのアップを果たす。 ◇4K制作の流れをルーティン化し、最新の放送技術に触れてスーパーハイビジョンの魅力を追求める。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	コンプライアンスを徹底し、働き方改革と業務改革を共に進めながら、効率的な業務運営に努め、受信料の公平負担を進めます。	◇定型的な業務の標準化、集約化を進めて、視聴者ニーズや予算施行状況の分析を深化させ、現場との情報共有を図って企画編成部の戦略部門としての機能を果たす。 ◇営業活動の品質を向上させ、持続可能な業績確保ができる体制作りをする。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 高松放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の命と暮らしを守る防災・減災報道、緊急報道に全力で取り組みます。	◇災害への備えや解決すべき課題などを継続的に取材し、県民の防災意識の向上と安全・安心な地域づくりに貢献します。 ◇地震・台風・豪雨などの大規模災害に備えて放送機能を強化し、報道態勢を整備します。 ◇緊急時には、あらゆる手段を活用して、迅速・確実に情報を発信します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	地域の魅力や課題を積極的に発信し、身近で親しまれる放送局を目指します。	◇視聴者の関心が高い話題や地域の課題を深く掘り下げたニュース・番組を制作し、県域放送を充実させます。 ◇「香川がイチバン」をキャッチフレーズに、様々な番組やイベントで地域の魅力を発信します。 ◇スーパーハイビジョンの普及促進に取り組むとともに、地元を意識した4K8Kコンテンツを制作します。 ◇地域のスポーツを応援し、東京オリンピック・パラリンピックを目指す選手を精力的に取り上げます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	創造性に富む職場を目指して業務改革を進め、効率的な働き方を追求します。	◇業務を高度化し、柔軟でメリハリのある働き方を実現します。 ◇適切な業務管理・勤務管理を行い、長時間労働を抑制します。 ◇コンプライアンスを順守し、受信料の公平負担を進めます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



部局目標 [2019年度]

局名 広島放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	中国地方の安全・安心の拠点として、放送を太い幹とし、その他のメディアも最大限に活用した防災・減災報道を実施します。	<p>◇中国地方に暮らす人や旅行者などの生命・財産を守るため、正確・迅速な報道に努めます。</p> <p>◇災害報道を実施する際にはインターネットを最大限に活用して、日頃放送に接する機会の少ない層の避難行動を促し、公共放送から公共メディアへの進化を図ります。</p> <p>◇行政機関はもとより、インフラを支える企業やCATVとの連携を積極的に推進し、よりキメ細かな地域の安全・安心情報を提供します。</p> <p>◇災害時に放送など情報伝達手段が途切れることがないよう、平常時から万全を期します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	中国ブロックの放送や各県の県域放送の一層の充実を図るとともに、地域の魅力や課題を全国・全世界に発信します。	<p>◇広島県の県域ニュース・番組を充実し、より親しみを持たれる放送を行うとともに、ブロック内の放送局を支援し、地域の実情に合った県域放送を実施します。</p> <p>◇中国地方が抱える課題や共通のテーマに基づいたブロック放送を実施します。</p> <p>◇全国放送、国際放送を積極的に行い、地域の魅力を広く伝えます。</p> <p>◇4K8K番組の制作を推進するなど、新たな技術に積極的に挑戦し、より魅力あるコンテンツを制作します。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	10年後の開局100年を見据え、視聴者により信頼され親しまれる放送局になります。	<p>◇開局90年を機に整備した8KSHVシアターを活用し、広島局の魅力を向上させます。</p> <p>◇これまでの業務を抜本的に見直し、積極的に業務のスクラップを実施するとともに、経営資源を公共メディアへの進化や視聴者サービスに重点配分します。</p> <p>◇視聴者の信頼を高め、受信料の公平負担を促進します。</p> <p>◇コンプライアンスを徹底し、不祥事のない健全な組織を確立します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 岡山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	岡山の安心・安全を守るため、防災・減災報道を、放送を軸としてさまざまなメディアを通じて視聴者に届けきります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇西日本豪雨からの復興にむけての取り組み、課題を放送し、被災者に希望を届けます。</li> <li>◇視聴者の防災・減災意識の向上をめざし、ニュース・番組で警鐘を鳴らし続けます。</li> <li>◇災害時にラジオ、インターネット、CATVとの連携などあらゆる手段を活用して、避難行動への誘導、被害やライフライン情報を正確かつ迅速に報道します。</li> <li>◇災害に備え、放送設備の強化、安定した放送波の送出や受信設備の整備に努めるとともに、非常時の代替手段を準備します。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	岡山そして瀬戸内の魅力や社会的な課題を全国・海外に広く発信します。また地域を元気にする事業・イベントを開催し、親しまれる放送局を目指すとともに地域の活性化に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇夕方610「もぎたて！」金曜730「@okayama」を軸に、地域の魅力・課題をより深く取材し、岡山の視聴者の「知りたい・見たい」に応えるコンテンツを制作、放送します。</li> <li>◇高松局と連携し、今年開催される瀬戸内国際芸術祭を中心に瀬戸内の魅力を全国、そして海外へ発信します。</li> <li>◇地域スポーツや東京2020をめざす選手を応援し、岡山を元気にします。</li> <li>◇自局制作の4K番組を推進するとともに、視聴者へ4K8Kの受信促進に向けた活動を行います。</li> <li>◇公開番組やイベントを通じて視聴者との結びつきを強め、受信料制度の理解促進を目指します。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	地域に寄り添った放送を確保し持続可能とするため、職員・スタッフが創造性をもって働ける健康的な職場を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇職員スタッフが心身ともに健康で、闊達なコミュニケーションを第一とした創造性豊かな職場をめざし、これまでの業務を慣例にとらわれず合理的に見直し、定型的な業務の集約化、効率化を行います。</li> <li>◇コンプライアンスと職場の安全管理を徹底します。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 松江放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	公共メディアとして「命と暮らしを守る」地域の防災・減災報道に全力で取り組み、みなさまの信頼に応えます。	◇災害報道をはじめ、島根原発をめぐる動きなど地域の安全・安心に役立つ情報の発信と体制を整備します。 ◇インターネット活用などによる情報発信の取り組みを進めます。 ◇放送の安定的な送出手のための機能強化と、良好な送受信環境の整備をします。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域に寄り添い、地域の活性化に貢献する情報を早く、深く、わかりやすく、広く発信しみなさまの期待に応えます。	◇島根の文化や自然など地域の魅力やさまざまな話題を伝え、地域の活性化に貢献する番組を放送します。 ◇事業の後継者不足をはじめとする県民の関心が高い課題に向き合い、重点的に取材しニュースや特集番組などで放送します。 ◇鳥取局との連携強化、国際放送への展開に努め、4K8K番組制作も視野に入れ、山陰ならではの魅力を広く伝えます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	公共放送の理解・信頼を高め、受信料制度の理解促進を図り、より必要とされるNHKを目指します。	◇NHKの存在価値をアピールする有意義なイベントや公開番組を実施します。 ◇新4K8K衛星放送の普及促進に努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピック関連のイベントにも取り組みます。 ◇全局が一丸となった受信制度への理解促進と公平負担の徹底に向け取り組みます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	業務改革を進め、創造性がより発揮できる職場とします。	◇業務の標準化と平準化を進め効率的な業務運営に繋げ、視聴者サービスに資する業務の充実を図ります。 ◇コンプライアンスを徹底するとともに、ハラスメントのない・許さない健全で働きやすい職場環境作りを推進します。 ◇「街と調和した地域情報の発信拠点」を考慮した新松江放送会館整備に向け、検討を進めます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 鳥取放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	<p>●地域への貢献</p> <p>地域改革2年目、より「必要とされるNHK」をめざします。地域の課題や魅力をしっかりと発信し、「大切なことを、より深く、より身近に」伝える“公共メディア”の礎を築きます</p>	<p>◇地域の課題を掘り下げ、地域活性化に役立つ放送、ふるさとの魅力を再発見し、誇りや自信につながる放送など、地域に根差したニュース・番組作りを強化し、地域放送の充実を図ります。</p> <p>◇地域のニュース・番組を放送・ネット等を通じて、全国・海外へ積極的に発信します。</p> <p>◇地元を取り上げたコンテンツの有効活用やワンソースマルチユースをより推進し、視聴者ニーズに応える柔軟な編成・制作を実施します。</p> <p>◇地域指標をはじめ、さまざまな指標を活用して地域ニーズをくみ取り、PDCAを回してよりよいサービスにつなげます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	<p>●地域からの信頼</p> <p>安全・安心の拠点として、住民のいのちと暮らしを守る防災・減災報道を行います。公共メディアの一員としての自覚を持ち、地域から信頼される放送局を目指します。</p>	<p>◇防災・減災報道に全力で取り組み、災害時にはテレビ・ラジオ・インターネットを活用し、一人でも多くの人に伝わるきめ細かな報道を実施します。</p> <p>◇自治体、気象台、ケーブルテレビ局、そして住民組織等との連携を強化するとともに、日々の訓練を積み重ね、いざという時に備えます。</p> <p>◇生命・財産を守るため、正確で迅速な報道を行います。</p> <p>◇コンプライアンス、情報セキュリティを徹底し、一人一人が公共メディアの一員としての自覚を持ちます。</p> <p>◇放送の安定的送出と良好な送受信環境の整備を進めます。</p> <p>◇受信料の理解促進と公平負担の徹底を図り、視聴者からの信頼をさらに獲得します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	<p>●地域とのつながり</p> <p>公共メディアへの進化に向けて、新しい視聴者コミュニケーションのあり方を模索し、地域との新たなつながりを築きます。また、働き方改革を推進するとともに、職場全体がモチベーションを高く持ち、未来へのチャレンジを実行します。</p>	<p>◇視聴者と共に作る公共メディアを全局体制で目指し、それぞれの分野で新しいトライアルに挑戦します。</p> <p>◇テレビ・ラジオ・HP・twitterなどそれぞれの特徴を活かした戦略でより多くの地域の人たちとつながります。</p> <p>◇既存業務の平準化・見直しなどに積極的に取り組み、創造的な仕事により取り組める環境を作ります。</p> <p>◇東京オリンピック・パラリンピックに向けては、地域と一体となって盛り上げていくとともに、多様な価値観を認め合う社会の構築に貢献します。</p> <p>◇4K8Kなど新技術の習得と視聴者への普及推進を積極的に図ります。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2019年度]

局名 山口放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	パイロット局として県域放送の一層の充実を図るとともに、地域が抱える課題や話題、魅力を様々なメディアを通じ、全国・全世界に発信します。	◇高齢化や過疎化、若年層の流出など、地域が抱える様々な課題に正面から向き合い、ニュース・番組を通じて解決策を提示するとともに、地域の話題や魅力を夕方の情報番組や金曜夜間の県域向けの番組で多角的に発信し、パイロット局として県域放送を一層充実させます。 ◇全国放送、国際放送に積極的に取り組み、地域のコンテンツを広く国内外に発信します。 ◇インターネットを駆使するとともに、4K・8K制作に積極的に関わり、公共メディアへの進化に向けた取り組みを推進します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	山口県の安心・安全の拠点として、県民の命と暮らしを守る防災、減災報道に全力で取り組みます。	◇災害発生時には県民の命と暮らしを守るために、県民に必要な情報を全局をあげて迅速かつ正確に発信します。 ◇災害発生時には自治体や国の機関などと連携しながら状況を正確に把握するとともに、インターネットなど様々なメディアを通じてキメの細かい情報を発信します。 ◇ニュースなどを通じて日頃から防災、減災に関わる情報を提供し、県民の防災意識の向上につなげます。 ◇非常時に県民にくまなく情報を届けられるように、電波確保に向けた取り組みを日頃から実践します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	より効率的な業務体制を構築し、地域における山口放送局のプレゼンスを向上させます。	◇企画編成部を中心に従来の業務を一から見直し、定型的な業務のスクラップ、集約化を進めて、効率的な業務体制の構築に取り組みます。 ◇限られた経営資源を視聴者サービスの取り組みに重点的に配分し、山口放送局のプレゼンスの向上につなげます。 ◇受信料の公平負担に一層、取り組みます。 ◇コンプライアンスを徹底し、風通しのよい職場環境をさらに整えるとともに、働き方改革を一層推進します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 福岡放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の皆さまの安全・安心な暮らしを支え、多様な地域の魅力や話題、また課題を国内外に広く発信し、地域の期待に応えます。	<p>◇日頃から防災・減災につながる情報の提供を心がけるとともに災害発生時には正確・迅速な緊急報道に取り組み、被災者が必要とする情報を的確に伝え地域の安全・安心を守ります。</p> <p>◇4月の統一地方選挙や夏の参議院議員選挙では、有権者の判断のよりどころとなる情報を公平・公正に伝え、正確かつ迅速な報道で地域の関心に応えます。</p> <p>◇北部九州エリアの広域的な情報発信を強化し、地域の課題を深く掘り下げ地域に密着した話題や情報を伝え、視聴者の興味・関心に応えます。</p> <p>◇地域の多彩な魅力を届け、地域ドラマやエンターテインメント番組など、幅広い世代が楽しめる番組や、大河ドラマ「いだてん」の盛り上げに努め地域の活性化に貢献します。</p> <p>◇アジアと歴史・文化・経済的につながる深い地域ならではの視点で、地域とアジアとの関係を見つめ、地域の未来を探ります。</p> <p>◇ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックに関わる地元選手や競技の関連情報を伝えるとともにプロ野球、サッカー、大相撲など地域のスポーツ情報をニュースや番組で積極的に伝え視聴者の期待に応えます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	公共メディアへの進化に向けて、新しいサービスへの対応や業務改革などの経営改革に取り組むとともに、高い倫理観と活気あふれる職場を実現し、地域の皆さまに必要とされる存在であり続けます。	<p>◇「九州・沖縄 地域改革プラン」2年目の取り組みを推進して地域改革の内実を高めるとともに4月から施行される改正労基法をふまえてよりいっそう働き方改革を進め、やりがいを持って生き生きと働ける職場環境をめざします。</p> <p>◇地域の期待に応える放送・サービスの実現に向けて、限られた経営資源を有効に活用するため、定型的な業務をはじめ既存業務を見直し九州・沖縄ブロック経営の視点で効率的・効果的な業務体制を構築します。</p> <p>◇公共メディアを支える高い倫理観と創造性を持つ人材の育成に努め、コンプライアンスの徹底、情報セキュリティの強化を図り、透明性の高い業務運営を行います。</p> <p>◇4K・8Kの超高精細映像と臨場感あふれる迫真のサウンドを生かした番組制作・普及に取り組みます。</p> <p>◇地域に関連するさまざまな情報やコンテンツを集約した、利便性の高いインターネットサービスを開発・提供し、プランニングの動きとも連動しながら、デジタルを含めたコンテンツファーストの考え方で、地域社会の活性化に貢献します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	地域の皆さまとのふれあいの場を創出し、地域との結びつきを強化するとともに、NHKへの理解促進、受信料の公平負担の徹底を図ります。	<p>◇公開番組やイベントなど視聴者参加型の取り組みを積極的に展開し、幅広い世代からより身近に感じてもらえるNHKをめざします。あわせて受信料制度の理解促進を図ります。</p> <p>◇地域と連携したイベントを通じて視聴者とのコミュニケーションやにぎわいの場を創出し親しまれる放送局をめざします。</p> <p>◇より効率的な営業活動を通じて、より丁寧なお客対応を励行し、地域のみなさまからの声を大切にして受信料の公平負担を徹底します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

## 部局目標 [2019年度]

局名 熊本放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災と減災に資する地域の公共メディアとしての使命を達成し、熊本地震を伝え続けます。	◇放送とインターネットなどあらゆる手段で迅速・的確な災害情報発信する。 ◇新運行装置の安定運用を継続し、緊急送出やライフライン放送の訓練を定期的実施する。 ◇熊本地震の課題の検証を続け、復興に寄与する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	すべての働く人の心身の健康を尊重し、健全な社会と地域づくりに貢献しながら業務改革に取り組みます。	◇職員・スタッフの健康を最優先とする。 ◇前例や慣習にとらわれず業務を見直し、思い切った廃止や効率化を進める。 ◇コンプライアンスの徹底を常に点検する。 ◇会館周辺再開発にあわせ視聴者コミュニケーション向上を図る。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	最新の高度な技術も活用して地域の活性化と課題の克服、そして魅力発信に寄与します。	◇4K8Kでの取材・制作を継続し、熊本の魅力をさらに国内と海外へ発信する。 ◇大河ドラマやスポーツ世界大会の開催にあわせ、2020年への盛り上げりに繋げていく。 ◇新たな技術に対応したスキルの向上と人材育成を進める。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	受信料の公平負担の徹底とともに、視聴者からの信頼を向上させます。	◇訪問要員体制の構築継続と訪問によらない手法の開発を推進。 ◇法令や社会規範に基づいた適正な業務の推進を徹底。 ◇放送や技術とも連携して訪問要員の意識向上を図る。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 北九州放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	命と暮らしを守る防災・減災報道や地域の課題解決に貢献する放送に全力！	<p>◇迅速・正確な緊急報道・災害報道に福岡局と連携しながら万全を期し、日頃から防災につながる情報を提供して地域の視聴者の信頼をさらに高めます</p> <p>◇必要に応じて北九州局独自の二重し字やスーパー等で防災情報や交通情報をきめ細かく伝えます</p> <p>◇新運行装置の整備を着実に進めながら、緊急時を含めた放送の安定送出に引き続き万全を期します</p> <p>◇緊急報道訓練を定期的実施し、職員の意識とスキルを高めます</p> <p>◇高齢化と人口減少の先進都市である北九州地域の課題解決に役立つ情報を積極的に伝えます</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の活性化や文化の維持・向上に貢献する放送・サービスに全力！	<p>◇「630」に短縮される北九州単のニュース番組をより一層充実させるとともに前半の県域放送への参加をさらに進めます</p> <p>◇地元企業の先進的な取り組みや地域の活性化に取り組む人々を積極的に放送し、元気ある地域づくりを応援します</p> <p>◇400周年を迎える小倉祇園太鼓など伝統文化の「今」を取り上げ、イベントとも連動させて地域におけるNHKの存在感を高めます</p> <p>◇地域唯一のプロチームであるJ3・ギラヴァンツや東京五輪を目指す地元アスリートなど地域のスポーツ活動、それに地元の劇団や楽団など文化の担い手を積極的に取り上げ、地域を盛り上げます</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	視聴者コミュニケーション活動を強化し、受信料の公平負担を徹底！	<p>◇新たな独自イベントやSHVのPR活動などで地域の視聴者とのつながりを強化し、受信料制度への理解を一層進めます</p> <p>◇新たな法人開発を含めて営業改革を一層推進し、効率的な営業活動で受信料の公平負担をさらに進めます</p> <p>◇地域に関連した全中番組を含め、番組やイベントの実施にあたっては、HPやSNSをより積極的に活用して現役世代へのアピールに務め、あわせて「公共メディア」への理解を進めます</p> <p>◇イベントの実施にあたっては、可能な限り放送とも連動させてPR効果を高めます</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	地域改革や業務改革を推進して効率的・効果的な業務体制を構築し、働き方改革や活力ある職場を実現！	<p>◇地域改革プランに沿って福岡局への業務集約を一層進めるとともに、要員体制に見合った両局の協力態勢を深化させます</p> <p>◇業務の平準化や標準化を進め、スタッフ等の効率的な働き方を推進して少数精鋭化を進めます</p> <p>◇既存事業のスクラップ&amp;ビルドを進め、働き方改革や活力に満ちた風通しの良い職場づくりにつなげます</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓



## 部局目標 [2019年度]

局名 長崎放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	被爆地の放送局として、核兵器廃絶や平和を願う長崎の声、世界の動きを国内外に発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇平和祈念式典中継や特集企画など、核廃絶の訴えや被爆体験の継承に資する放送番組</li> <li>◇平和運動や被爆体験の継承に向けた新しい世代の動きを伝える報道</li> <li>◇核兵器のない世界を目指す海外の動きを伝える報道</li> <li>◇平和について考えるきっかけを提供するイベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
2	安全・安心を守る報道に努め、地域の課題や関心の高いテーマを多角的に取り上げるとともに、長崎が持つ歴史や魅力を発信し、地域社会に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇安全・安心を守る防災・減災報道</li> <li>◇正確・迅速かつ公平・公正な選挙報道</li> <li>◇高齢化・人口減少など地域社会の課題を多角的に取材し伝えるとともに、諫早湾干拓事業や新幹線整備など地域で議論されるテーマをわかりやすく掘り下げる報道</li> <li>◇米軍や自衛隊の動きなど東アジアの安全保障と住民生活への影響をめぐる報道</li> <li>◇長崎県の、キリスト教や諸外国の文化とつながってきた多様な歴史、恵まれた農林水産物や観光資源について全国に紹介</li> <li>◇V・ファーレン長崎情報をはじめ人々の期待に応えるスポーツ情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
3	視聴者との結びつきを強め、理解と信頼を一層高めて、公共放送の基盤安定を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇放送と連動したわかりやすく親しみやすい広報・理解促進活動</li> <li>◇地域の人々・自治体とのつながりを強める公開番組・イベント</li> <li>◇4K・8K放送の普及促進に資する番組制作や広報活動</li> <li>◇設備の更新や保守整備等による電波の安定送出確保</li> <li>◇視聴者の理解と信頼に基づくとともに、より効率的な契約・収納活動を通じた公平負担の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ ✓</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進 ✓</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
4	「業務改革」と「働き方改革」を進め創造的で効率性の高い職場環境を実現するとともに、コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇既存業務の見直しや業務の標準化・平準化等を通じた、地域放送の充実・強化と「働き方改革」の両立・推進</li> <li>◇改正労働基準法に即した適切な勤務管理に基づくワーク・ライフ・バランスの実現と、多様性があり風通しの良い働きやすい職場づくり</li> <li>◇力強い地域放送サービスを支える人材の育成</li> <li>◇コンプライアンス・公金意識の向上とリスクマネジメントの推進を図る各種施策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求 ✓</li> </ul>

## 部局目標 [2019年度]

局名 鹿児島放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	桜島の火山災害など想定される緊急事態に備え、鹿児島局の非常時体制を新たに確立するとともに、視聴者の皆さまに役立つ防災・減災報道を公共メディアとして積極的に展開します。	<p>◇鹿児島市街地に被害が及ぶおそれのある桜島の火山災害に備えた</p> <p>放送事業継続計画の方針などを新たに確立します。</p> <p>◇緊急報道においてはテレビ、ラジオ、インターネットでローカルに特化したニュースを積極的に伝えていきます。</p> <p>◇よりの確な緊急報道をめざして、普段より職員・スタッフの全局体制の訓練などを重ねます。</p> <p>◇地域指標やモニター報告等で、鹿児島局の災害報道の客観的な評価が高まるようにします。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	地域放送改革を一段と進めます。平日の午後6時台と金曜夜7時台の県域番組、そしてスポーツ中継番組が、視聴者の皆さまから一段と高く評価されるよう努めます。	<p>◇地方局ならではのチャレンジングな提案を出しやすい職場風土を醸成します。</p> <p>◇平日午後6時台の「情報WAVEかごしま」は、視聴者の意見を積極的に取り入れて、より多くの方に見ていただけるようにします。</p> <p>◇金曜夜7時台に放送される鹿児島局の自主制作番組は、全中や管中にも展開出来るようなより高品質の内容にします。</p> <p>◇県域番組やスポーツ中継については、逆L字幕スーパーなどで積極的に広報して、視聴者の関心を引き起こします。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	改正労働基準法等に基づく新しい働き方を職員やスタッフに定着させます。業務改革に向けて、鹿児島局の業務量や経営資源の現状を点検して既存業務の見直しをはかります。	<p>◇新しい働き方の基準に適切に対応するため、現場で意見交換を重ねながら業務の進め方を変えていきます。</p> <p>◇業務改革が迫られているNHKの現状を職員全員が認識し、鹿児島局の業務量や外部パワーなどを調査して実態を把握します。</p> <p>◇拠点局への業務集約を着実に進めることによって、調査・分析に基づく戦略的な編成や、新たな視聴者層の開拓につながるイベントの実施などの視聴者コミュニケーション活動にパワーシフトします。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	3年連続全営業目標達成のため、まずはコンプライアンスを徹底します。特約店活動を積極的に展開し、訪問要員に頼らない体制を構築します。	<p>◇スタッフに対しても、NHKで仕事をするからには極めて高いコンプライアンスが求められることを十分に説明します。特に営業の訪問員には徹底指導によって視聴者からのクレームの件数を減らします。</p> <p>◇3年連続の全営業目標を達成するため、法人開発を進めて訪問員の確保にあたります。</p> <p>◇地方の深刻な人手不足の中で、CATVや民間企業などとの連携を強めて「訪問員だけに頼らない営業活動」も展開します。</p> <p>◇「営業は全局体制」という認識を鹿児島局の職員にさらに浸透させます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 宮崎放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「命と暮らしを守る」防災・減災・緊急報道に全力で取り組みと同時に、県民が必要とする情報を正確・迅速・多角的に伝えたり、多彩なコンテンツ・サービスを様々な技術を使って届けることで、公共的価値を高める	◇地域の防災への取り組みや課題を継続的に伝え、防災意識の向上に努め、安全な安心な地域づくりに貢献する ◇放送と同時に、マルチ発信やHP等を通じたきめ細かい情報提供を行うほか、多様な技術を駆使した情報の付加価値を高める取り組みを日常的に重ねる ◇正確、迅速で細やかな災害・気象報道、事件報道、選挙報道等で視聴者の信頼に応える	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の課題と向き合い解決策を模索したり、地域の関心に応える情報発信・番組を通じて、県民へのサービス向上に努め、さらに多様な地域の魅力を全国・世界に発信することで、地域社会の活性化に貢献する	◇平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の地域放送番組を充実させる ◇地域の課題と魅力を丹念に取り上げ、掘り下げて伝えたり、全国・世界へと広く発信することで課題克服や地域振興に寄与する ◇地域のスポーツ、とりわけサーフィンをテーマにしたドラマ・番組・情報の発信を通じて地域との結びつきを強化し、その関心と期待に応える	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	業務改革の視点から既存業務を見直し、効率化によって生み出されたパワーを新規投資につなげる	◇既存業務のムダ削減などの集約化や業務にかかる時間を減らすための標準化など、業務効率化を心がけ、視聴者コミュニケーションの推進や新たなサービスの開発をめざす	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	NHKの取り組みを理解して貰うイベントやサービスを通じて、視聴者に必要とされるNHKを目指し、同時に受信料の公平負担の徹底に向けた努力と営業改革の推進を行う	◇公開番組やイベント・キャンペーン、番組と関連したサービスの展開と広報によって、受信料制度の理解促進を進めると同時に、営業改革を推進して、より効率的な契約・収納方法を探る	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

## 部局目標 [2019年度]

局名 大分放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災や減災の情報発信をさらに充実させて災害から県民の命や暮らしを守る放送局として力を発揮します。さまざまな災害の県内被災地の復旧復興を引き続き支援します。	◇南海トラフ巨大地震や直下型地震、津波、火山の噴火、台風や大雨などの災害に備え態勢を整備しさまざまな訓練を実施する。 ◇データ放送やホームページ、イベントなどを通して防災・減災情報の発信を強化する。 ◇放送の安定送出と電波の安定を確保する ◇大規模土砂崩れや九州北部豪雨、熊本地震などの被災地の復旧復興を積極的に支援する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の魅力や課題などを積極的に取り上げてよりよい地域作りに貢献するとともに海外やネットにも幅広く発信します。	◇外国人や障害者も暮らしやすい地域の実現に資する情報発信を展開する。 ◇ワールドカップラグビーやサッカーJ1の大分トリニータをはじめ東京オリンピック・パラリンピックに向けた動きなどスポーツ情報の発信を強化する。 ◇大分県の豊かな自然や食、伝統文化などの魅力について全国や海外への発信を増やす。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	既存業務の見直しを図るとともに気軽に議論ができる風通しのよい職場を作って効率的な仕事ができる環境を整備し働き方改革を推進します。視聴者コミュニケーション活動に力を入れ、開かれた親しまれる放送局をめざします。	◇各部で業務時間を減らすことにつながる業務の見直しを進め創造的な職場を構築するための工夫、施策を実行する。 ◇通常の公開番組にとどまらず視聴者との新たな触れ合いの機会を創出する。 ◇ネットも含めNHKへの接触度合いを向上させ親しまれるNHKにつながる取り組みを実施する。 ◇受信料の推計世帯支払い率を着実に引き上げる。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 佐賀放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	○県民の生命と暮らしを守るとともに、公平・公正で視聴者に寄り添う情報提供を充実し、信頼される放送局を目指します。	◇災害や事件・事故に備える体制を築き、安全・安心を守る 正確・迅速な報道を、放送やインターネットを活用して様々なプラットフォームに発信する。 ◇地域放送の強化・拡充を目指すとともに、視聴者のよりどころとなる公平・公正な情報を提供する。 ◇国政選挙や地方選挙では、有権者の判断のよりどころとなる正確な報道をする。 ◇安定した送受および、安定した電波を確保する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	○親しまれる放送局を目指すとともに、地域の放送、サービスの充実に一層力を入れ、地元の活性化に貢献します。 ○4K・8K(スーパーハイビジョン)の魅力を発信し、理解・普及促進に取り組みます。	◇暮らしに密着した情報や豊かで元気になる番組を発信し、地域放送を充実する。 ◇多様な地域の魅力を掘り起こし、佐賀の魅力を全国へ発信する。 ◇2019さが総文(第43回全国高等学校総合文化祭)では、高校生の交流と文化活動を発信する。 ◇地域に根差した放送局として視聴者に喜ばれるイベントなどを展開する。 ◇Jリーグの他、東京2020にむけて、県内のアマチュアスポーツを取り上げ、地域のスポーツ振興に貢献する。 ◇BS4K8Kの周知活動に取り組むとともに、新技術を活用した新たなサービスを創造する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	○受信料制度について、一層のご理解を頂けるよう取り組みます。 ○コンプライアンスを徹底するとともに、働き方改革を推進し、活力ある職場と、ひとりひとりが創造できる環境を整えます。 ○業務の棚卸をはじめとして、業務の平準化、定型化、自動化などにより、業務改革を推進する。 ○新放送会館では街の中核となる機能を充実し、にぎわいの創出に貢献できるよう、整備計画を進めます。	◇NHKの使命と受信料制度への理解を促進し、公平負担を追及するとともに、BS放送受信の普及促進に取り組む。 ◇長時間労働に頼らない働き方改革を推進し、効果的な働き方や、やりがいのある職場環境を作る。 ◇業務の見直しを継続的に行うとともに、AIやRPAなどへの理解を深めて業務への導入を目指し、業務改革を推進する。 ◇改正労働基準法に適切に対応する。 ◇地域の期待に応える新会館建設を着実に遂行する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2019年度]

局名 沖縄放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「万国津梁」沖縄の魅力と課題を全国、世界に発信するとともに、命と暮らしを守るための放送を充実させます。	<p>◇県と国が対立する米軍基地の問題を深く取材し、基地問題が争点となる衆院補選や参院選でも多角的な選挙報道を行います。</p> <p>◇沖縄戦や平和の問題に加え、文化・芸能・スポーツなど沖縄の多彩な魅力を幅広く取り上げます。今年上演300年を迎える伝統芸能「組踊」の芸術的価値についても国内外に広く伝えます。</p> <p>◇災害報道の体制を強化し、発生時にはL字画面やデータ放送、インターネットも駆使してきめ細かく情報発信します。増加する外国人観光客のための外国語情報も充実させます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	受信料制度の理解促進に向けて、全局一体となって地元とのつながりを深め、県民に支えていただける放送局をめざします。	<p>◇達成が見込まれる世帯支払率50%突破を通過点と位置づけ、受信料制度の一層の理解促進と公平負担の徹底に取り組みます。</p> <p>◇公開番組やイベントを県内各地で展開し、幅広い世代にNHKに触れていただける機会を増やします。のど自慢など過去に実績のない自治体での開催を増やします。</p> <p>◇平日夕方方のニュースや金曜夜の地域情報番組などで離島の問題を積極的に取り上げ、全市町村との連携強化につなげます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	地元信頼される、活力ある地域放送局となるため、既存の業務を不断に見直し、効率化を進めます。	<p>◇既存の業務の進め方を抜本的に見直し、受信料の価値を高めるような効率的な組織運営をめざします。</p> <p>◇関連団体や外部に委託している業務のあり方やフローを見直し、一層の適正化を進めます。</p> <p>◇局内に導入された無線LANを最大限に活用し、ペーパーレス会議の徹底など作業の効率化を図ります。</p> <p>◇コンプライアンスを徹底して不祥事を起こさない職場風土を築き、受信料で支えて頂くにふさわしい組織を作ります。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓